

まちづくり市民アンケート 報告書

伊那市

企画部 企画政策課

目 次

I	市民アンケート調査結果	
1	調査概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査方法等	1
(3)	配布数及び回収結果	1
(4)	本調査報告書の留意点	1
2	回答者の属性	2
(1)	性別	2
(2)	年齢	2
(3)	居住地	2
(4)	同居している家族の構成	3
(5)	職業	4
(6)	居住年数	4
3	伊那市の現状について	5
4	定住意向について	8
(1)	今後の定住意向について	8
(2)	住み続けたい理由	10
(3)	住みたくない理由	11
5	各施策の評価について	12
(1)	満足度	15
(2)	重要度	16
(3)	点数化による分析	17
6	今後のまちづくりの方向性について	20
7	まちづくりについての意見・提案等	22
II	中学生アンケート調査結果	
1	調査概要	30
(1)	調査目的	30
(2)	調査方法等	30
(3)	配布数及び回収結果	30
(4)	本調査報告書の留意点	30
2	回答者の属性	31
(1)	性別	31

(2) 学校	-----31
3 伊那市の現状について（市民アンケート共通設問）	-----32
4 愛着度について	-----34
5 定住意向について	-----36
6 伊那市の自慢できるものについて	-----38
7 今後のまちづくりの方向性について（市民アンケート共通設問）	-----39
8 意見の反映方法について	-----40
9 まちづくりについての要望・意見等について	-----41
(1) 市への要望や意見	-----41
(2) 自分たちができること	-----44

I 市民アンケート調査結果

1 調査概要

(1) 調査目的

次期総合計画を策定するにあたり、本市の情勢や市民の意識を調査するために、15 歳以上の市民を対象に、まちづくりの満足度・重要度や伊那市の将来像のイメージ等を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査方法等

アンケートの対象者	伊那市に在住する 15 歳以上の者
人 数	3,000 人
抽 出 母 体	住民基本台帳（平成 29 年 6 月 21 日現在）
抽 出 法	無作為抽出
調 査 方 法	郵送による配布・回収
調 査 時 期	平成 29 年 7 月 1 日～7 月 31 日

(3) 配布数及び回収結果

配 布 数	3,000
有 効 回 答 数	1,314
有 効 回 答 率	43.8 %

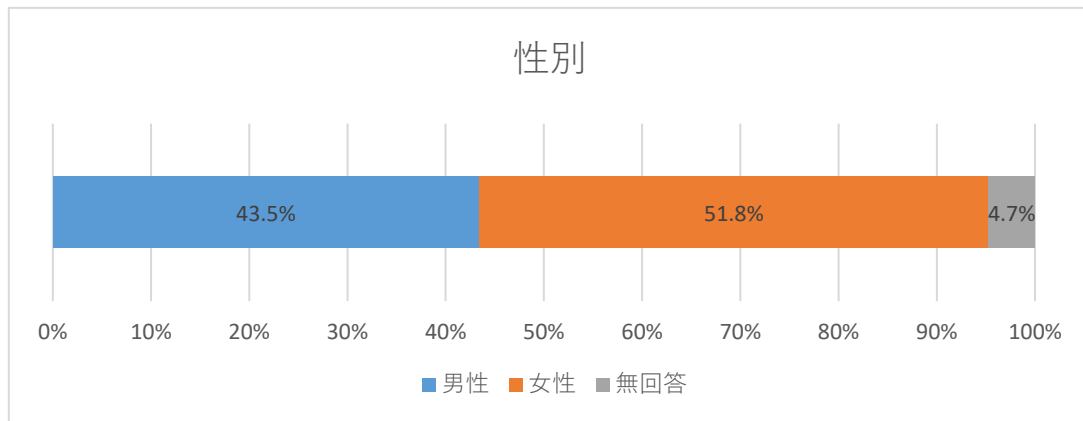
(4) 本調査報告書の留意点

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、百分率の合計が 100%にならないことがあります。
- ②質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがあります。
- ③図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。

2 回答者の属性

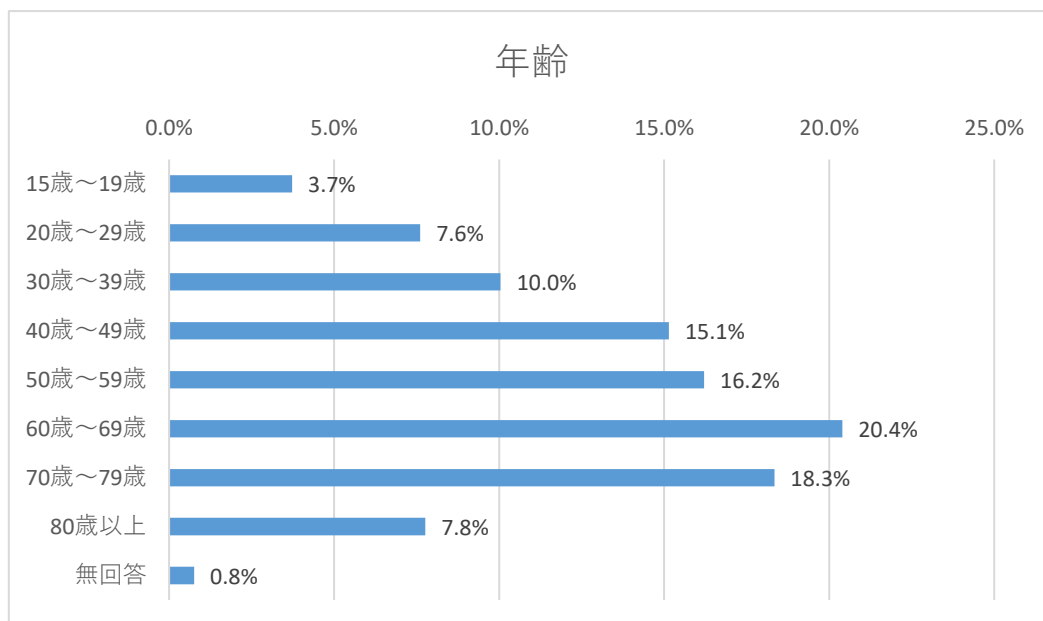
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が 43.5%、「女性」が 51.8%となっています。



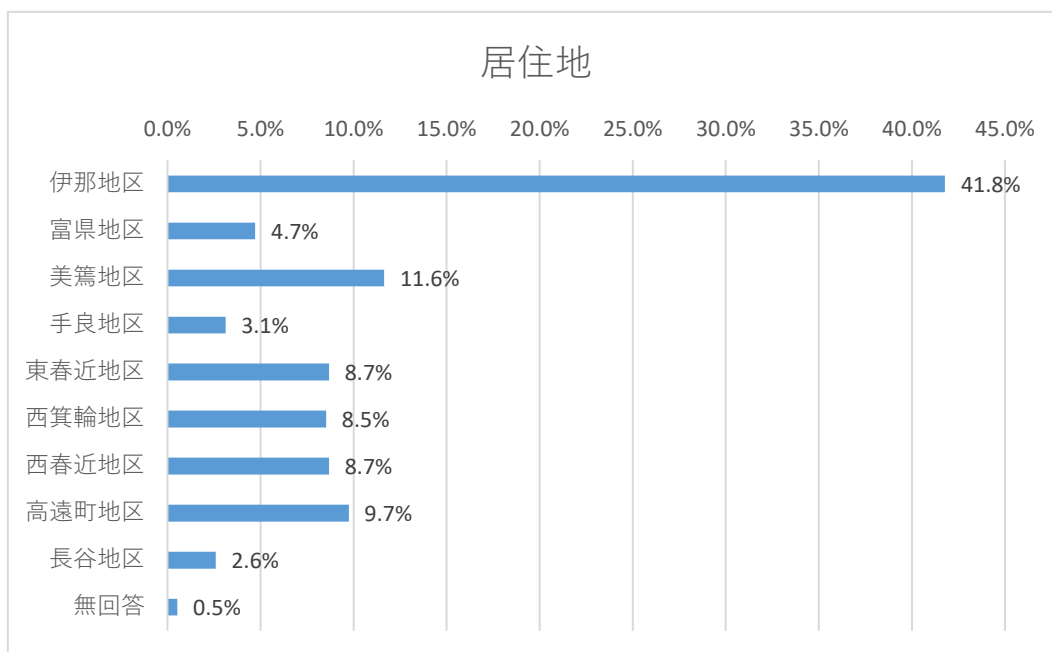
(2) 年齢

年齢は、「60歳～69歳」が 20.4%で最も多く、以下「70代」(18.3%)、「50代」(16.2%)と 50歳以上の回答が 6割以上を占めています。



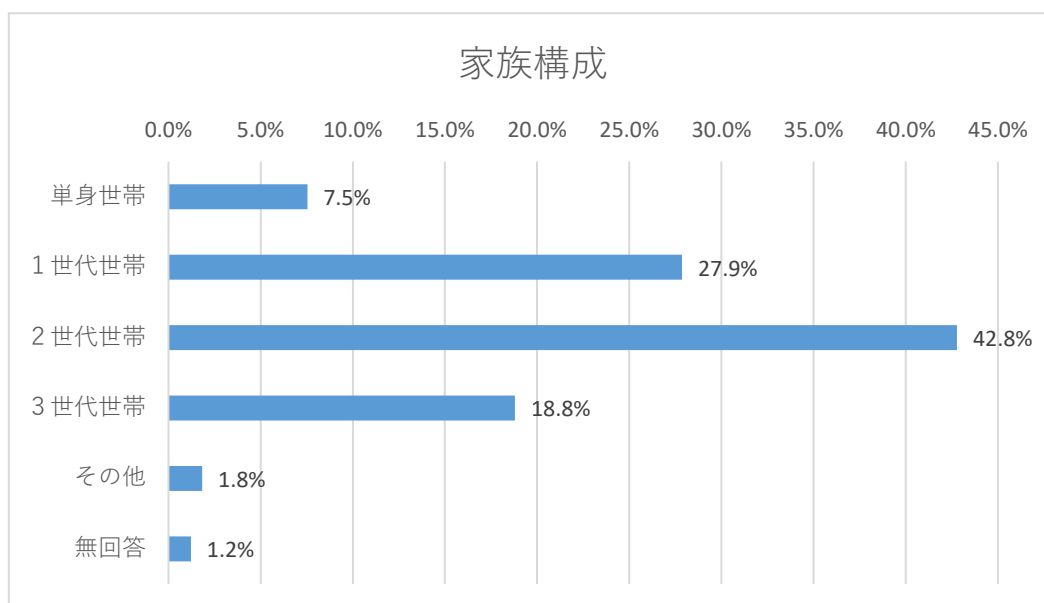
(3) 居住地

居住地は、「伊那地区」が 41.8%で最も多く、以下「美簗地区」(11.6%)、「高遠町地区」(9.7%)、「東春近地区」(8.7%)、「西春近地区」(8.7%)、「西箕輪地区」(8.5%) となっています。



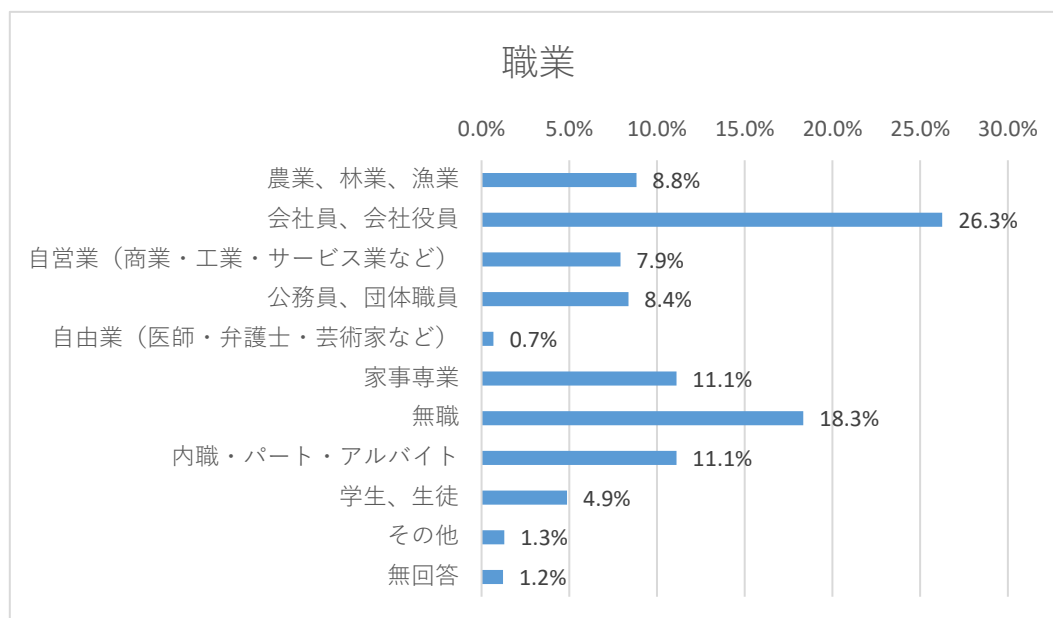
(4) 同居している家族の構成

同居家族の構成は、2世代世帯（親と子）が 42.8%で最も多くなっています。



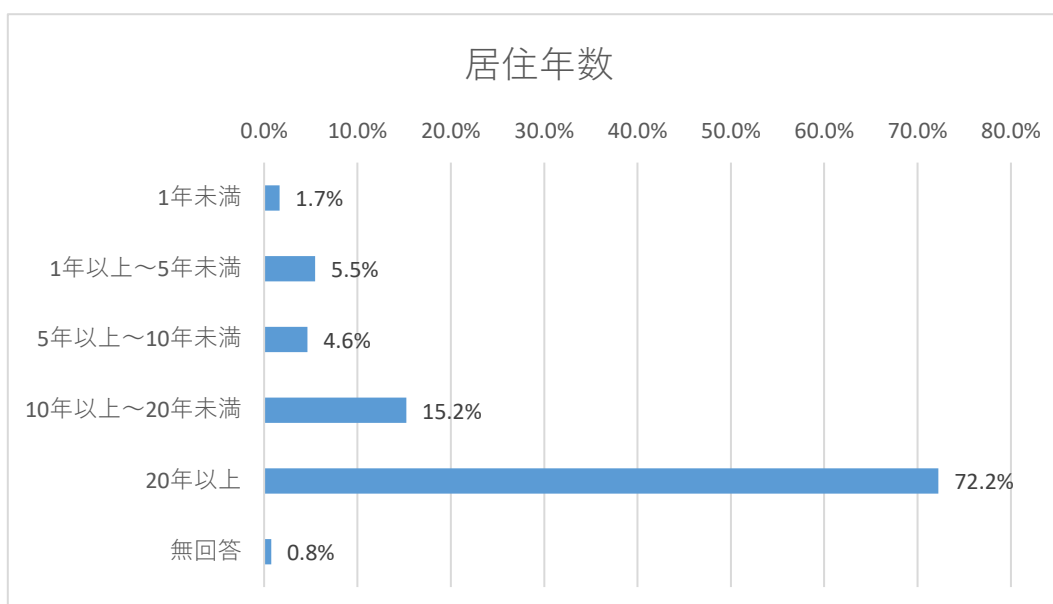
(5) 職業

職業は、「会社員・会社役員」が 26.3%で最も多く、続いて「無職」(18.3%)、「家事専業」、「内職・パート・アルバイト」(11.1%)、「農業、林業、漁業」(8.8%) の割合が多くなっています。



(6) 居住年数

居住年数は、「20 年以上」が 72.2%で最も多く、以下「10 年以上 20 年未満」(15.2%)、「1 年以上 5 年未満」(5.5%)、「5 年以上 10 年未満」(4.6%) となっています。



3 伊那市の現状について

問1 伊那市に関する次の項目の現状について、どのように感じていますか？

それぞれあてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

《項目》

- (1) 美しい山、川、風景があり、自然が豊かである
- (2) 安心して子どもを産み、子育てができる
- (3) 地域の人が子育てを応援している
- (4) 子どもの教育環境がよい
- (5) 高齢者が安心して暮らしやすい
- (6) 病気になっても安心して医療が受けられる
- (7) 心も体も健康で暮らすことができる
- (8) 清潔で快適な生活環境が整備されている
- (9) 日常の買い物がしやすく便利である
- (10) 道路や鉄道、高速道路などが整備されて交通の便がよい
- (11) スポーツ・レクリエーション活動が活発である
- (12) 文化・芸術活動が活発である
- (13) 自然災害に備える体制が整っている
- (14) 昔からある行事など、地域の伝統が大切にされている
- (15) 地域住民が助け合い、安全に暮らすことができる
- (16) 米や野菜をつくるなど農業が盛んである
- (17) 雇用環境が整っている
- (18) 多くの人が観光に訪れ、人々の交流が盛んである

《選択肢》

- (1) そう思う
- (2) 少しそう思う
- (3) どちらともいえない
- (4) あまり思わない
- (5) そう思わない

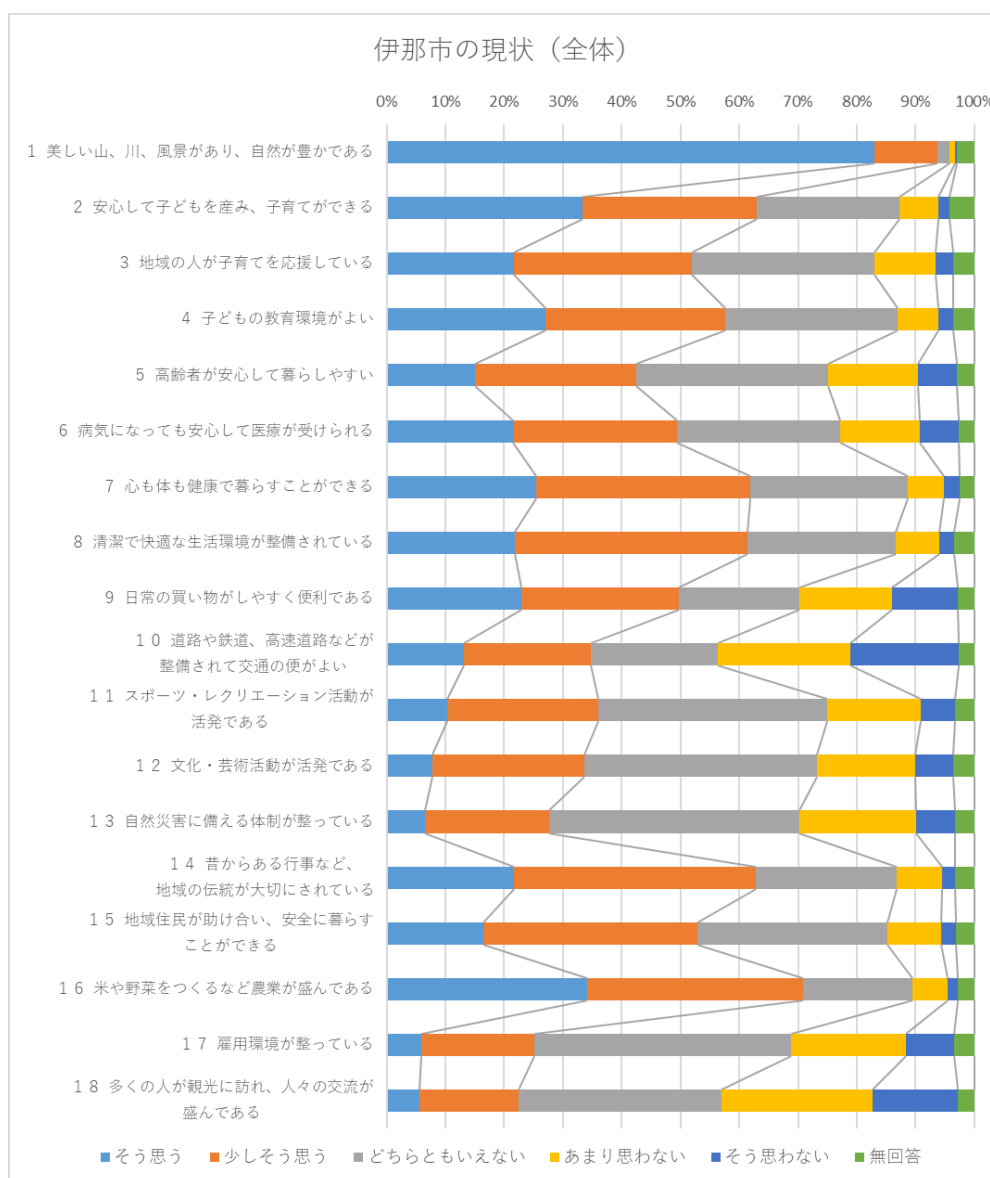
【全体の傾向】

●「豊かな自然」、「農業」、「子育て」は評価が高い

●「道路・交通」、「観光・交流」、「雇用」は評価が低い

全 18 項目について伊那市の現状（イメージ）をたずねたところ、「そう思う」と「少しそう思う」の合計の上位 3 項目は、「1 美しい山、川、風景があり、自然が豊かである」（93.8%）、「1 6 米や野菜をつくるなど農業が盛んである」（70.9%）、「2 安心して子どもを産み、子育てができる」（63.0%）でした。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」の合計の上位 3 項目は、「1 0 道路や鉄道、高速道路などが整備されて交通の便がよい」（41.1%）、「1 8 多くの人が観光に訪れ、人々の交流が盛んである」（40.3%）、「1 7 雇用環境が整っている」（27.6%）でした。



【属性別の傾向】

●10代は全体的に評価が高い

●居住年数1年未満は全体的に評価が低い

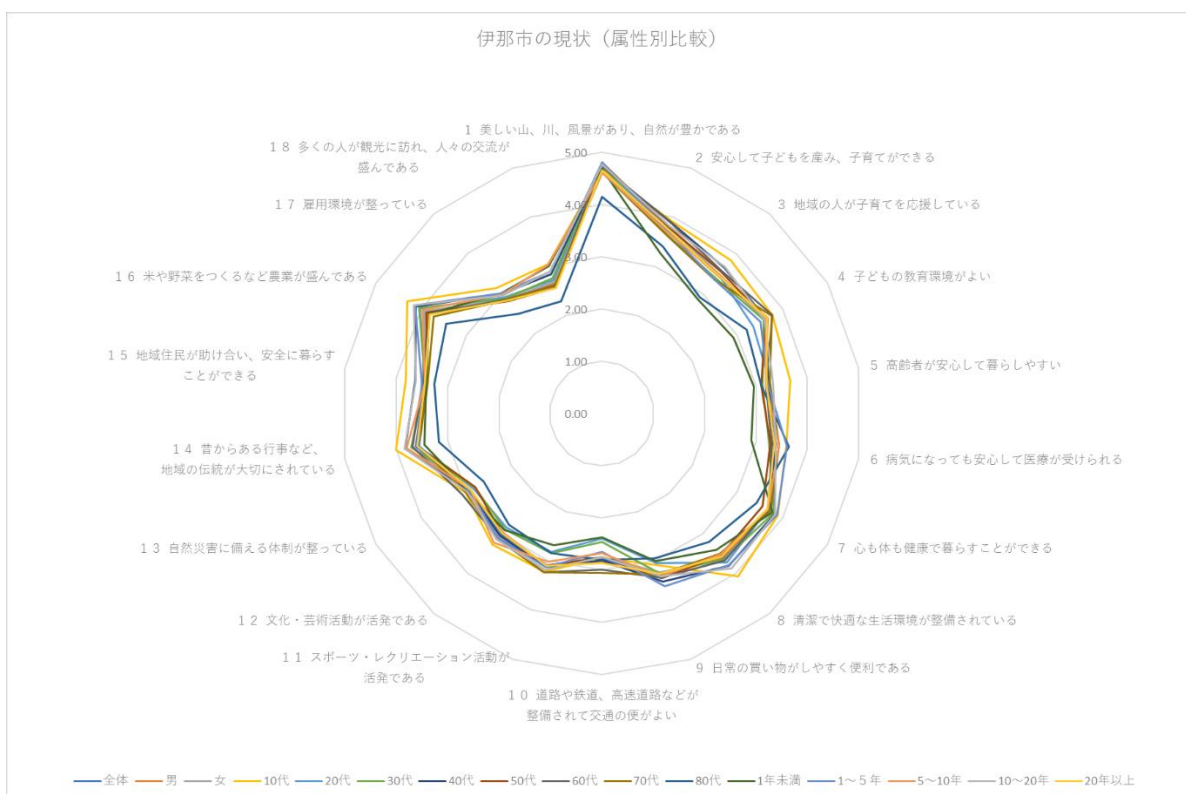
5段階評価にそれぞれ点数を加え、評価点を算出した。

そう思う…5点、少しそう思う…4点、どちらともいえない…3点、あまり思わない…2点、そう思わない…1点

上記の方法で各選択肢を点数化して評価点を算出し、属性別の評価点を比較したところ、「10代」の評価点は、18項目中16項目で全体平均を上回り、全体的に評価が高い傾向にありましたが、「9 日常の買い物がしやすく便利である」と「10 道路や鉄道、高速道路などが整備されて交通の便がよい」の2項目は、全体平均を下回る結果となりました。

一方で、「居住年数1年未満」の評価点は、18項目中13項目で全体平均を下回り、全体的に評価が低い傾向にありました。

また、「80代」の評価点は他の属性より低い傾向にありますが、「無回答」が多いことが、評価点へ影響したものと考えられます。



4 定住意向について

問2 あなたは、これからも伊那市に住み続けたいと思いますか。

あてはまる番号を1つ選び、番号に○をつけてください。

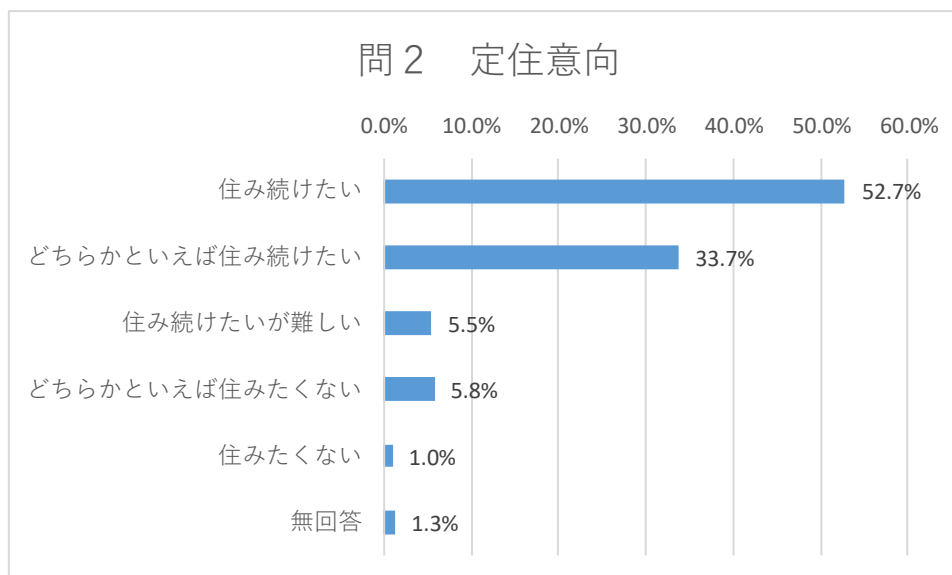
《選択肢》

- (1) 住み続けたい
- (2) どちらかといえば住み続けたい
- (3) 住み続けたいが難しい
- (4) どちらかといえば住みたくない
- (5) 住みたくない

【全体の傾向】

●全体の約80%が“定住意向がある”と回答

今後の定住意向をたずねたところ、「住み続けたい」（52.7%）と「どちらかといえば住み続けたい」（33.7%）を合わせた“定住希望がある”人は86.4%となっています。一方、「住みたくない」（1.0%）と「どちらかといえば住みたくない」（5.5%）の合計は6.5%で、“定住希望がある”割合を大きく下回っています。



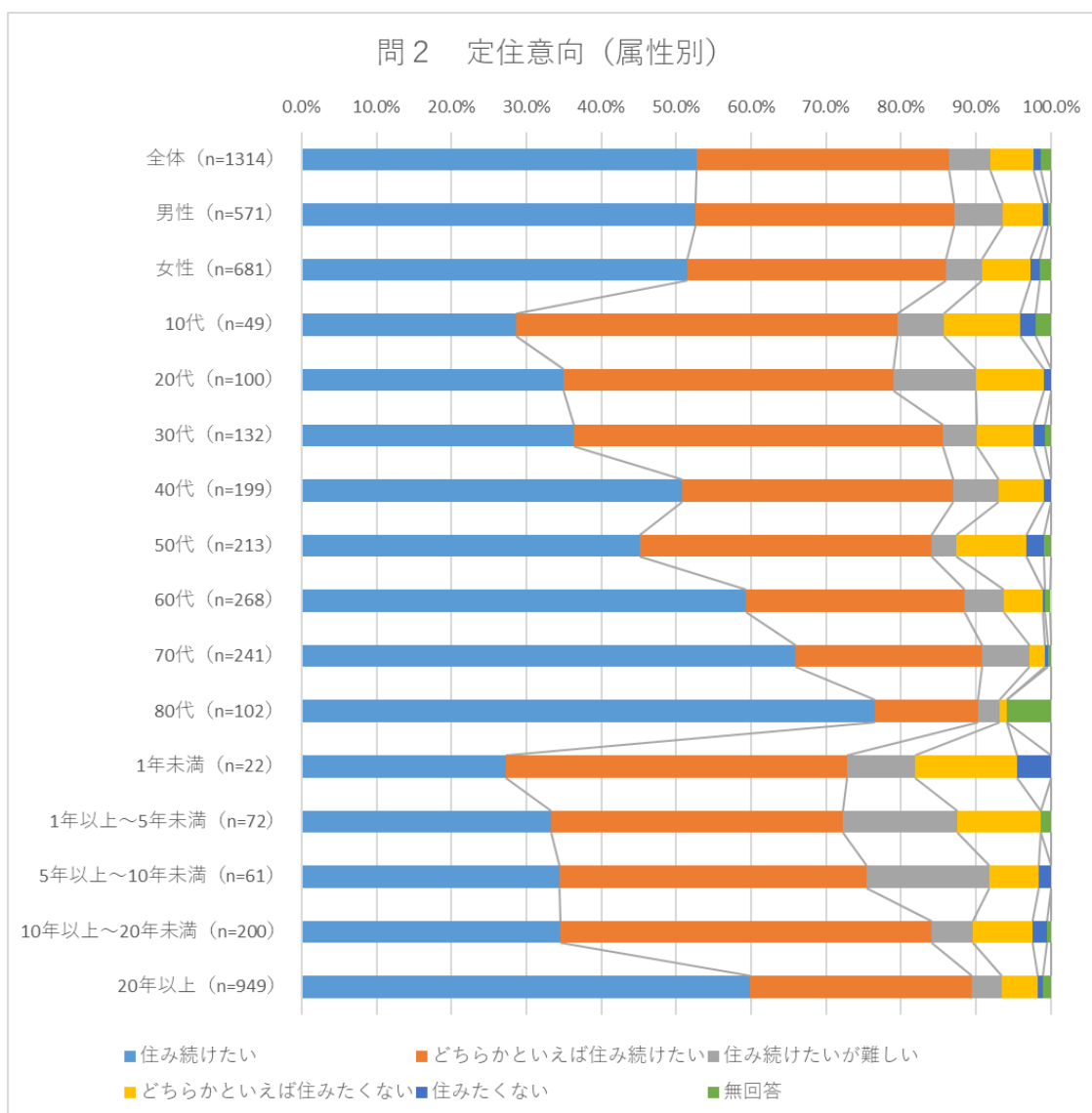
【属性別の傾向】

●年齢が高く、居住年数が長いほど“定住意向がある”割合が高い

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるほど「住み続けたい」の割合が高くなる傾向にあります。また、居住年数別にみても20年以上暮らしている場合、半数以上が今後も住み続けたいと回答しています。

住み続けたい理由として「自分の土地や家がある」(34.5%)が最も多く、「家族、兄弟、親族が身近にいる」、「この地への愛着」の割合が高くなっています。

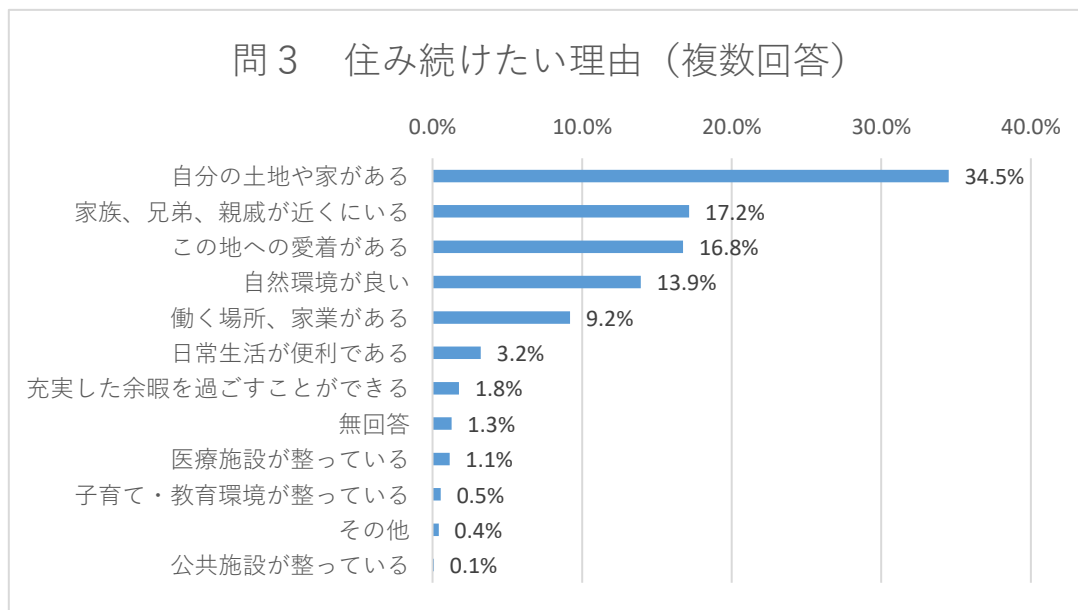
一方、住みたくない理由としては、「日常生活が不便」(24.5%)が最も多く、「充実した余暇を過ごせない」、「愛着がわからない」の割合が高くなっています。また、地域のつながりが強く、行事や人間関係における“しがらみ”があることを理由とする意見もあります。



問3 「問2」で「(1)住み続けたい」、「(2)どちらかといえば住み続けたい」、「(3)住み続けたいが難しい」と回答した方にお聞きします。

「住み続けたい」と考える理由は何ですか。

あてはまる番号を2つまで選び、番号に○をつけてください。



【その他の理由】

育ててもらった地域への恩返しをするため。

近所の人々への愛着があるから。

友人、知人が伊那に多く住んでいるから。

人間としてのつきあいがある。

原発から離れたところにある。

自然災害が少ない。

住めば都で離れたくない。

子どもを転校させたくない。

私に選択権はない。あくまで主人の都合。

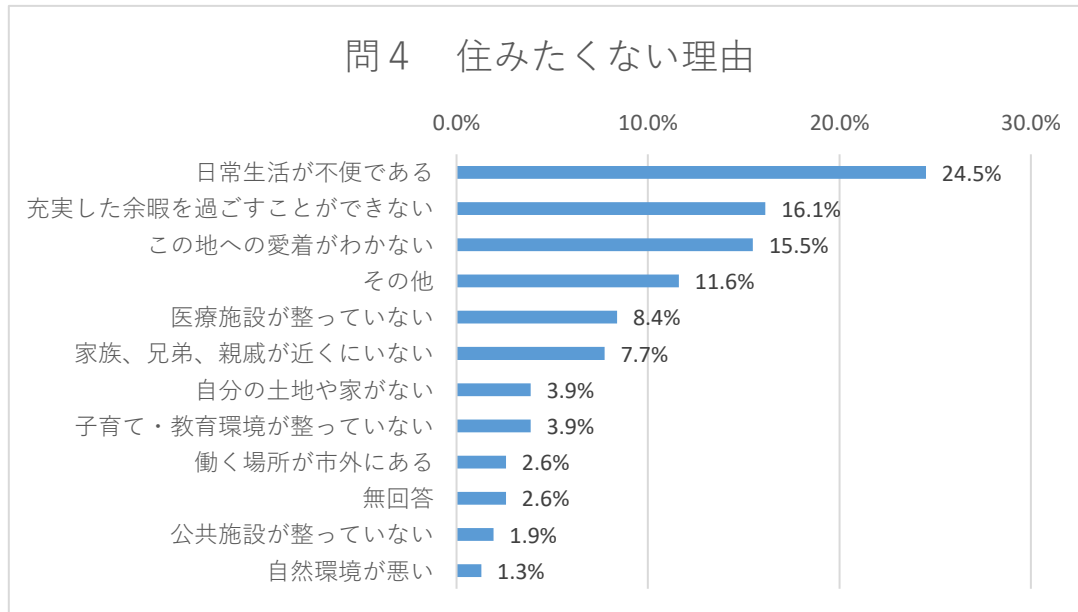
他へ行くあても、理由もないから。

子供を頼れない。

問4 「問2」で「(4)どちらかといえば住みたくない」、「(5)住みたくない」と回答した方にお聞きします。

「住みたくない」と考える理由は何ですか。

あてはまる番号を2つまで選び、番号に○をつけてください。



【その他の理由】

●日常生活

(土地が広すぎて雪かき、草刈が大変。上京に時間がかかる。公共交通が不便すぎる。道路が整備されていなく、買い物、医者へのアクセスが良くない。消防署が遠い。車が無いと生活しづらい。都内、大都市への移動が不便。家が古い。)

●行政

(市の対応が悪い。市民のための思いが少ない。市に余力がなく、的確な政策が不十分だと思う。税金が高い。水道料金、ガス料金が安い。ゴミ捨てが不便。)

●地域

(地域の行事、消防などが大変なため。区の役が毎年回ってくるのが苦痛。地域のつながりが強すぎ。いろいろな行事での「しがらみ」が多い。人間性が良くない。閉鎖的。昔から住んでいる人にとって、よそから来た人は何年たってもよそ者扱い。強制が多すぎる。)

5 各施策の評価について

問5 現在の伊那市の施策について、どのように感じていますか？

「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたの考えに近いものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

《現在の満足度》

- (1) 満足
- (2) やや満足
- (3) 普通
- (4) やや不満
- (5) 不満

《今後の重要度》

- (1) 重要
- (2) やや重要
- (3) 普通
- (4) あまり重要ではない
- (5) 重要ではない

No.	施策	分野
1	市民主体のまちづくり活動への支援	市民参画
2	男女共同参画社会の実現	市民参画
3	差別のない社会の実現	市民参画
4	自治会の支援や連携強化	市民参画
5	特色を生かした魅力ある地域づくり	市民参画
6	市民の視点に立った行政サービス	行財政
7	健全な行財政運営（自主財源の確保、未収金解消）	行財政
8	効率的な行政運営（職員数の適正化、公共施設の統廃合や事務事業の見直し）	行財政
9	行政情報の提供（広報誌、ホームページなど）	行財政
10	周辺市町村との広域連携	行財政
11	担い手の確保や育成、販売力強化	農林業
12	農地や農業用水などの基盤整備	農林業
13	特産品の開発、ブランド化	農林業
14	地産地消や食育の推進による地域活性化	農林業
15	森林整備と林業の活性化	農林業
16	有害鳥獣や松くい虫など病害虫の被害防止対策	農林業
17	森林資源の多目的利用（薪、木質ペレット、間伐材、きのこ、山菜、木炭など）	農林業
18	企業の経営支援、融資制度の充実	商工業

19	雇用の安定と人材確保	商工業
20	産業立地の推進（企業誘致、企業留置）	商工業
21	中心市街地の活性化	商工業
22	森林や農地など自然環境の保全	自然環境
23	街並みや自然などの景観づくり・保全	自然環境
24	水質汚濁、騒音対策、悪臭等の公害対策	自然環境
25	バイオマス、太陽光、中小水力発電等の新エネルギー普及促進	自然環境
26	安全でおいしい水の安定供給	生活環境
27	下水道・浄化槽の整備	生活環境
28	火葬場や霊園、公衆便所などの衛生施設の整備	生活環境
29	ごみ処理体制や減量化・リサイクルの推進	生活環境
30	都市、農業及び森林地域等における適正な土地利用	生活環境
31	便利で住みやすい市街地の整備	生活環境
32	市民の憩いの場としての公園・緑地の整備	生活環境
33	広域幹線道路網の整備	生活環境
34	身近な生活道路の整備	生活環境
35	路線バスなどの公共交通の充実	生活環境
36	福祉サービスの充実	福祉・保健
37	結婚支援の充実	福祉・保健
38	健康づくり、健診・保健指導	福祉・保健
39	医療施設や救急医療体制の充実	福祉・保健
40	介護施設や在宅サービス	福祉・保健
41	高齢者の介護予防や生きがいづくり	福祉・保健
42	子育て支援（出産環境、育児相談）	福祉・保健
43	保育事業（保育内容の充実、未満児保育、病児保育）	福祉・保健
44	保育園施設の整備	福祉・保健
45	障害（児）者の社会生活支援（相互理解、バリアフリー化、自立支援）	福祉・保健
46	小・中学校の教育内容の充実や指導体制	教育
47	教育環境の整備（校舎の耐震化・長寿命化、通学路の安全確保）	教育
48	高校教育・大学教育との連携	教育
49	心の教育及び支援体制（不登校、いじめ対策、虐待防止）	教育
50	公民館活動や図書館の充実	生涯学習・文化芸術・スポーツ
51	青少年の健全育成（家庭・学校・地域の連携）	生涯学習・文化芸術・スポーツ
52	芸術に触れ親しむ機会の提供	生涯学習・文化芸術・スポーツ
53	文化財の保存・継承・活用	生涯学習・文化芸術・スポーツ

54	スポーツ施設の整備・充実	生涯学習・文化芸術・スポーツ
55	スポーツライフの実現や競技力の向上	生涯学習・文化芸術・スポーツ
56	広域交通網の整備（国道153号伊那バイパス・伊駒アルプスロード）	広域交流・観光
57	定住人口の増加（空き家対策、就業相談、子育て支援）	広域交流・観光
58	国際交流による多文化共生のまちづくり	広域交流・観光
59	自然、歴史、文化、食などの地域資源を活用した観光	広域交流・観光
60	市民参加型の観光体制（農家民泊、ボランティアガイドの育成）	広域交流・観光
61	誘客宣伝活動やイベントの実施	広域交流・観光
62	外国人観光客の受け入れ態勢の充実	広域交流・観光
63	情報通信技術を活用した行政サービスの提供	広域交流・観光
64	地震・水害などへの防災対策	防災・地域の安心安全
65	救急・消防体制の充実	防災・地域の安心安全
66	交通安全の推進、歩道・信号機・標識などの交通安全施設整備	防災・地域の安心安全
67	消費生活における情報提供や相談体制	防災・地域の安心安全
68	犯罪と暴力のない平和なまちづくり	防災・地域の安心安全

(1) 満足度

【全体の傾向】

●“満足している”が最も多い項目は「安全でおいしい水の安定供給」

●“満足していない”が最も多い項目は「中心市街地の活性化」

総合計画の施策体系に基づき、各施策の状況を「満足度」として全68項目についてたずねたところ、「満足」、「やや満足」を合計した“満足している”の割合は、「安全でおいしい水の安定供給」が45.0%で最も高く、以下「下水道・浄化槽の整備」(36.8%)、「健康づくり、健診・保健指導」(26.4%)、「公民館活動や図書館の充実」(25.7%)、「ごみ処理体制や減量化・リサイクルの推進」(25.2%)が上位となっています。

一方、「不満」、「やや不満」を合計した“満足していない”の割合は、「中心市街地の活性化」が48.5%で最も高く、以下「路線バスなどの公共交通の充実」(44.7%)、「定住人口の増加(空き家対策、就業相談、子育て支援)」(35.9%)、「身近な生活道路の整備」(33.6%)、「担い手の確保や育成、販売力強化」(31.3%)が上位となっています。

【集計結果：上位5施策】

	満足度が高い施策		満足度が低い施策	
1	安全でおいしい水の安定供給	45.0%	中心市街地の活性化	48.5%
2	下水道・浄化槽の整備	36.8%	路線バスなどの公共交通の充実	44.7%
3	健康づくり、健診・保健指導	26.4%	定住人口の増加(空き家対策、就業相談、子育て支援)	35.9%
4	公民館活動や図書館の充実	25.7%	身近な生活道路の整備	33.6%
5	ごみ処理体制や減量化・リサイクルの推進	25.2%	担い手の確保や育成、販売力強化	31.3%

※満足度が高い施策は、「満足」と「やや満足」の回答数の合計により抽出した。

※満足度が低い施策は、「不満」と「やや不満」の回答数の合計により抽出した。

(2)重要度

【全体の傾向】

●“重要度が高い”項目は、「防災対策」、「救急・消防体制」、「定住促進」、「水の安定供給」、「介護」、「医療」

●“重要度が低い”項目は、「国際交流」、「インバウンド対応」

総合計画の施策体系に基づき、満足度と同様に各施策の今後の「重要度」についてたずねたところ、「重要」、「やや重要」を合計した“重要度が高い”の割合は、「地震・水害などへの防災対策」が75.6%で最も高く、以下「救急・消防体制の充実」(71.5%)、「定住人口の増加(空き家対策、就業相談、子育て支援)」(69.5%)、「安全でおいしい水の安定供給」(69.4%)、「介護施設や在宅サービス」と「医療施設や救急医療体制の充実」(69.3%)が上位となっています。

一方、「重要ではない」、「あまり重要ではない」を合計した“重要度が低い”の割合は、「国際交流による多文化共生のまちづくり」が10.7%で最も高く、以下「外国人観光客の受け入れ態勢の充実」(10.6%)、「市民参加型の観光体制(農家民泊、ボランティアガイドの育成)」(8.7%)、「誘客宣伝活動やイベントの実施」(7.2%)、「中心市街地の活性化」(6.4%)が上位となっています。

【集計結果：上位5施策】

	今後の重要度が高い施策		今後の重要度が低い施策	
1	地震・水害などへの防災対策	75.6%	国際交流による多文化共生のまちづくり	10.7%
2	救急・消防体制の充実	71.5%	外国人観光客の受け入れ態勢の充実	10.6%
3	定住人口の増加(空き家対策、就業相談、子育て支援)	69.5%	市民参加型の観光体制(農家民泊、ボランティアガイドの育成)	8.7%
4	安全でおいしい水の安定供給	69.4%	誘客宣伝活動やイベントの実施	7.2%
5	介護施設や在宅サービス 医療施設や救急医療体制の充実	69.3% 69.3%	中心市街地の活性化	6.4%

※重要度が高い施策は、「重要」と「やや重要」の回答数の合計により抽出した。

※重要度が低い施策は、「重要ではない」と「あまり重要ではない」の回答数の合計により抽出した。

(3) 点数化による分析

【全体の傾向】

●“優先度が高い”項目は、「**中心市街地活性化**」、「**公共交通**」、「**雇用対策**」、「**有害鳥獣対策**」、「**担い手の確保**」、「**定住対策**」

5段階評価にそれぞれ点数を加え、評価点を算出した。

満足、重要…5点、やや満足、やや重要…4点、普通…3点、やや不満、あまり重要ではない…2点、不満、重要ではない…1点

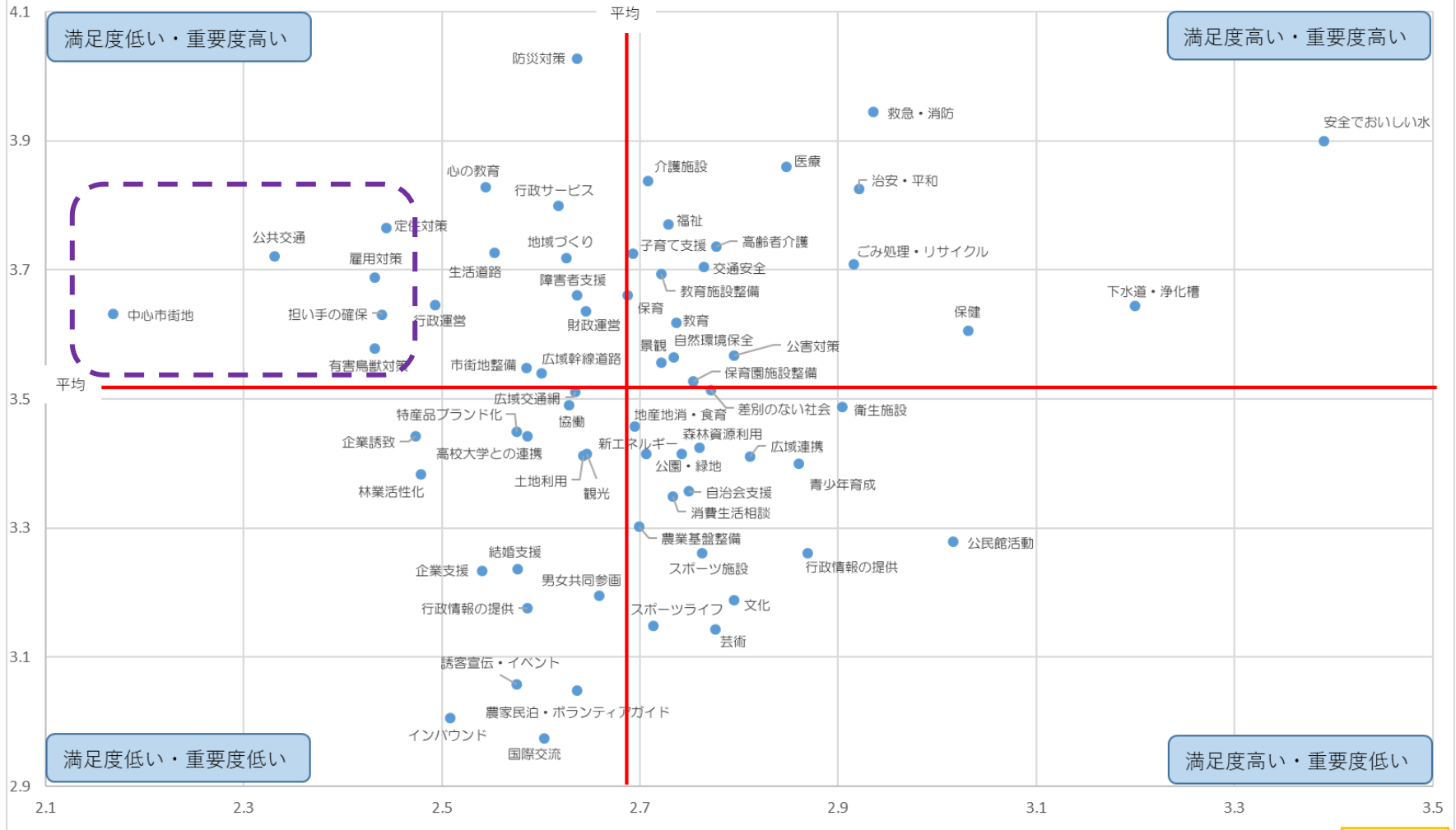
満足度と重要度をそれぞれ横軸、縦軸に設定し、分布図を作成しました。また、全ての項目の平均点を算出し、グラフ上にラインを引くと4つのエリアに分類されます。ここでは「満足度が低く、重要度が高い」項目のうち、満足度が半数を下回っている(2.5以下)施策を「優先度が高い項目」と定義します。

重要度が高い施策のうち、現状の満足度が最も低い「中心市街地の活性化」は優先度の高い項目であるといえます。一方で、「中心市街地の活性化」は、重要度が低いと回答している者も6.4%と比較的多いことが特徴です。

「現状の中心市街地の活性化施策に満足しているわけではないが、郊外に暮らす市民にとっては、自分が暮らす地域の活性化のほうが優先である」という考えが少なからずあることも傾向として考えられます。

重要度

満足度と重要度の分布



満足度

【属性別の傾向】

- 「**中心市街地の活性化**」は各世代共通で優先度が高い。
- 10～20代は、「**心の教育**」の優先度が他の世代より高い。
- 70～80代は、「**公共交通**」、「**定住対策**」の優先度が他の世代より低い。

各世代とも身近な課題を優先する傾向にあり、世代によって優先度の分布に特徴がみられますが、「中心市街地の活性化」、「公共交通の充実」は、10～60代に共通して優先度の高い項目となっています。

10～20代では、「心の教育及び支援体制」の優先度が他の世代と比べ高いことが特徴としてあげられます。また、10代は、「雇用対策」、「有害鳥獣対策」、「担い手の確保」の優先度が他の世代より低くなっています。

40～80代は、「効率的な行政運営」の優先度が10～30代と比べ高くなる傾向にあります。

70代以上では、「公共交通の充実」、「定住対策」の優先度が他の世代と比べ低くなる傾向にあります。

各世代の優先度順位

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
中心市街地	1	1	1	1	1	1	1	1	5
公共交通	2	1	2	2	2	2	2	1 4	4 1
雇用	3	1 9	5	4	5	3	9	5	6
有害鳥獣	4	2 3	7	1 0	7	1 1	5	2	2
担い手	5	1 5	8	5	6	5	3	6	1 5
定住	6	4	4	3	4	7	6	1 0	1 8
行政運営	7	1 4	2 0	2 0	3	8	8	9	1 0
心の教育	8	3	3	1 7	2 3	1 0	1 9	1 9	3 2

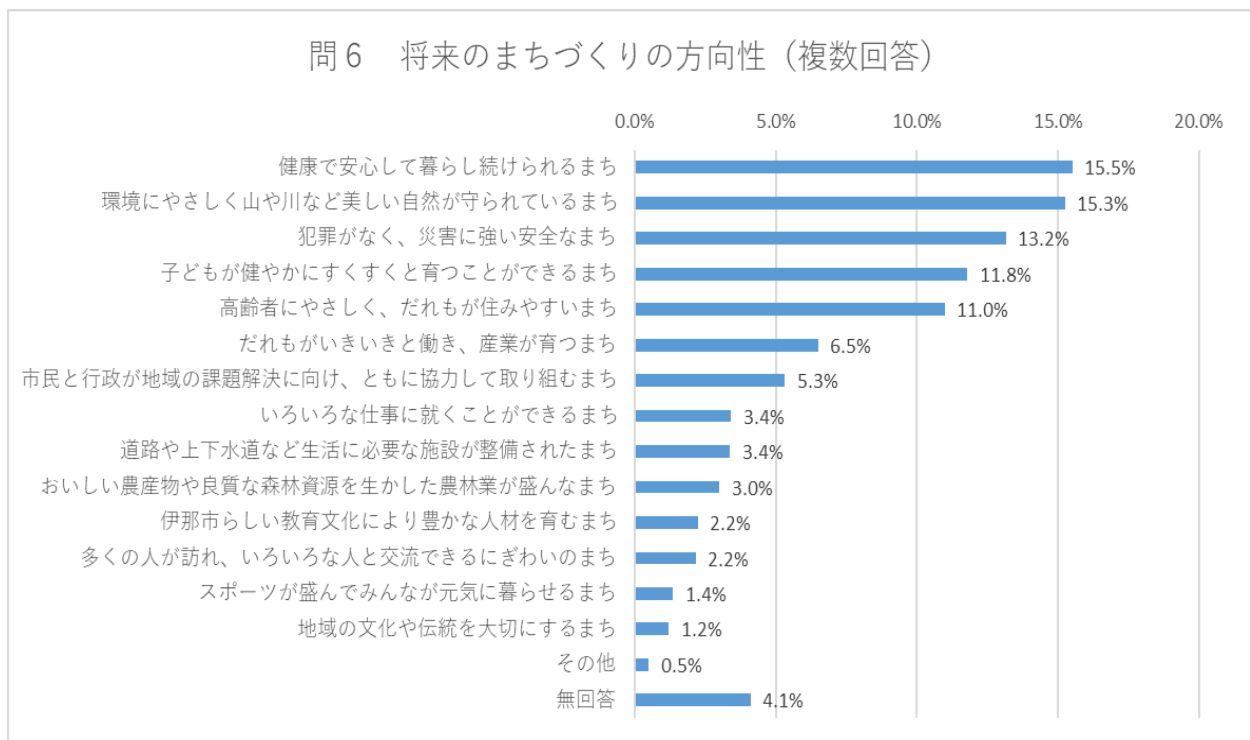
6 今後のまちづくりの方向性について

問6 あなたは、伊那市が将来どのような特色をもったまちになることを期待しますか。あてはまる番号を2つまで選び、番号に○をつけてください。

【全体の傾向】

●「健康」、「自然環境の保全」、「防災・安全」への関心が高い。

将来のまちづくりの目指すべき方向性についてたずねたところ、「健康で安心して暮らす続けられるまち」(15.5%)が最も多く、以下「環境にやさしく山や川など美しい自然が守られているまち」(15.3%)、「犯罪がなく、災害に強い安全なまち」(13.2%)、「子どもが健やかにすくすくと育つことができるまち」(11.8%)、「高齢者にやさしく、だれもが住みやすいまち」(11.0%)が上位となっています。



【属性別の傾向】

- 10代は、「就職」への期待が高い。
- 20～40代は、「子育て支援」への期待が高い。
- 50～80代は、「高齢者福祉」への期待が高い。
- 居住年数1年未満の層は、「教育・人材育成」への期待が高い。

世代、居住年数によって期待する項目に特徴がみられますが、全体の傾向と同様に「健康で安心して暮らし続けられるまち」、「環境にやさしく山や川など美しい自然が守られているまち」、「犯罪がなく、災害に強い安全なまち」は、世代、居住年数に関係なく共通して期待の高い項目であることがわかります。

10代は、他の属性に無い「就職」への期待が高いことが特徴です。

20～40代は、「子育て支援」への期待が高く、50～80代は、「高齢者福祉」への期待が高い傾向にあります。

居住年数1年未満の層は、他の属性には無い「教育・人材育成」への期待が高いことが特徴です。

属性別クロス集計

		第1位	第2位	第3位
全体		健康	自然環境保全	防災・安全
性別	男性	自然環境保全	健康	防災・安全
	女性	健康	自然環境保全	防災・安全
年齢別	10代	自然環境保全	健康	就職
	20代	子育て支援	自然環境保全	健康
	30代	子育て支援	健康	自然環境保全
	40代	自然環境保全	子育て支援	防災・安全
	50代	自然環境保全	健康	高齢者福祉
	60代	健康	自然環境保全	防災・安全
	70代	健康	防災・安全	高齢者福祉
	80代	高齢者福祉	健康	防災・安全
居住年数別	1年未満	防災・安全	自然環境保全	教育・人材育成
	1～5年	子育て支援	自然環境保全	健康
	5～10年	子育て支援	自然環境保全	防災・安全
	10～20年	自然環境保全	健康	防災・安全
	20年以上	健康	自然環境保全	防災・安全

7 まちづくりについての意見・提案等（主なもの）

問7 今後の伊那市の発展や市民の皆さんの暮らしを豊かにするためのご意見、ご提案（アイデア）などがありましたらお書きください。

【市民参画・地域自治分野】

- 市民と行政が地域の課題解決に向け、ともに協力して取り組むまちとなるよう期待します。
- 各地区には、区があり、組がありますが、入区が強制的で、若い人が住みにくいと聞きます。
- 高齢世帯と若年世帯など、普段（平日など）の顔を合わせて話す時間が短く関わりが少ない人たちがつながりをもてる機会がたくさんあると、地域内のつながり強化や助け合いに発展すると思います。
- 若い人達が、意見を言える場を作って、定期的に意見交換をしたり、イベントを通して、市内、市外にも、伊那市の良さをアピールしていけたらいいと思います。
- いつまでも昔からの方が引っ張っていくより、各企業・団体など若い方がリーダーシップをとっていけるようになってほしい。悪いことではないけれど、他地域と比べると「昔からの人」が重んじられすぎているように感じます。
- 都会からの移住者にとっては、自治会の活動がわずらわしいと思う方も多いので、最小限にして参加しやすくする。
- 未婚、既婚、子供の有無などにかかわらず、女性が働きやすい市にしてほしい。
- 子供中心の行事などは多いのですが、大人も楽しめるようなことがあればいいかなあとと思います。夫婦 2 人の生活ではなかなか地域との触れ合いが少なく、伊那市は少し退屈という感じです。やる気のあるパワー満点の人は、黙っていてもいろいろ参加すると思いますが、そうでない人はなかなか参加しづらいです。

【行財政分野】

- 保育園以外の施設についても統廃合を進め、経費を削減すべきである。
- 市民の税等の負担が少なく、豊かで誰もが暮らしたいと思うまちにしてほしい。
- 市役所の職員の対応（挨拶、笑顔）の指導をもっと行っていただきたいと思います。
- 人口減、高齢化の中で「発展」は厳しいと思います。人口の奪い合いのために行政サービスの充実を市町村間で競い、財政破たんや一時的な事業実施による混乱を引き起こすようであれば、今から「やらないサービス」「縮小するサービス」を検討してもよいと思います。
- 伊那市に引っ越してきて 1 年経っていないこともあり、今回のアンケートで、市の現状についてあまり分かっていないことに気づきました。市民がまちづくりの情報を手軽に入手できるようメール配信などで情報提供してもらえればありがたいです。

- 税金を安くすれば人は増えます。過剰な行政サービスを求めているわけではありません。そのために行政はできるだけスリム化・効率化すべきです。民間活力を増大させるために規制や税率は少なくし、地域再生のために企業誘致などポイントを絞り込み、戦力を拡散させず、最小のコストで最大の効果を狙ってください。
- 市の政策が子育て支援に偏重している気がする。全体のバランスを考えてほしい。
- 行政の仕事を住民に押し付けないでほしい。

【農林業分野】

- 人口は減っているのに優良農地が減っている。稼げる農業生産体制を構築してほしい。
- 信州大学と共同で、ワインの市として発展させる。(気候、土壌等の条件チェックが必要。)
- 森林資源が豊かにあるのに、作業道が整備されていないため、活用できず山中に放置されている。森林資源は石油、石炭に代わる燃料や建築資材として、循環して活用できる重要な資源です。身近にある大切な資源を活用できるよう、作業道の整備に力を入れてもらいたい。
- 商・工は時代とともに変わっていくが、農の基本はこの先も変わらない。もっと自然や農に軸を置き、大切に育てれば多くの人に恵みをもたらすことができる。自然には勝てない。

【商工業分野】

- 伊那市の玄関口である伊那市駅前の再開発を進めてほしい。
- 企業の撤退、規模縮小により働く場所がなくなり、若人を中心とした人口流出が懸念されます。企業誘致など働く場所の確保が重要と考えます。
- 大学誘致とベンチャー企業の支援。
- 複合商業施設があると、買い物も便利になり、市外からの交流人口も増えると思う。
- 市の発展や暮らしの豊かさは何と言っても働く場があるということ。収入なくして幸せは得ることができないと思います。
- 企業誘致の前提として、教育環境のレベルアップ、公共交通機関の整備が必須である。また、法人税の緩和など、企業側にもメリットが必要。
- 外部からの定住者を増やす前に、地元の人間の流出を防いでほしい。働き方の意識改革、働く場所の(業種)拡大などを、市が率先してやってほしい。
- 産業の育成を行い、働く人を呼び込むことが大切ではないか。若い人が近隣の市町村へ流出しないように若い世代に対する支援を明確にすべきと思われます。
- 情報関連企業の誘致を進めてほしい。
- 地域の既存産業(工業・商業・農業など)を大切にほしい。ネット社会に振り回されない地域作りを望む。

【自然環境分野】

- 恵まれた自然環境を大切に維持してほしい。
- 美しい自然を破壊して設置している太陽光パネルを制限すべき。設置後の景観も悪い。
- 森林景観を生かし、小水力、バイオマスなどの発電 多様な試みを推進してほしい。
- 景観を守り、統一性のあるまちづくりを進めてほしい。

【生活環境分野】

- 小さな子供が遊べる公園が少ないため、整備してほしい。
- 通勤時間の渋滞緩和を望む。
- 交通安全施設の整備をしてほしい。見づらいカーブミラーが多すぎる。
- 他県、他市域に比べ、伊那市は道路整備が非常に遅れていると思う。
- 市街地や国道 361 号の権兵衛トンネル道路の伊那市側に道の駅があるとよい。
- 高齢者が多く住む地域の狭い市道の除雪を充実してほしい。
- 霊園(墓地)が少ないように思います。土地を活用できるような地域がたくさんあるのに、ますみヶ丘以外の場所にも作るの难道いのでしょうか。
- 車の保有率を減らすには、公共交通機関が赤字にならないようなコンパクトなまちづくりが必要であると考えます。
- 市の木「桜」が市内および市街地に少なすぎる。駅前にあってもよいのではないか？
- R361沿線を宅地化して定住者を増やすべき。
- 東西に距離があり、施設が分散しているため、目的ごとに集約させて利用しやすくしてはどうか。(スポーツはスポーツ、文化は文化、アウトドア・・・など)
- 市住の空き部屋の貸出。事業所や地域、学生等が有効に使える工夫を。
- 広域交通網の整備促進とともに、これに伴う支道(市道等)の整備を計画的に進めていただきたい。
- 広域的な道路整備よりも身近なバスの維持などを優先すべきです。

【生活環境分野 (公共交通)】

- 学生や高齢者のような交通弱者のための交通網の整備が必要と考えます。市街地ではそれなりに整備が進んでいますが、そもそも市街地まで人が移動する手段が無さすぎます。特に車を運転できない学生にとっては移動の手段がありませんので、ぜひ検討していただきたいです。
- 今後、自分が高齢になり、自家用車で出かけられなくなった場合を考えると不安になる。通院や買い物、地域交流など安心して暮らせるまちづくりを望む。
- 観光に力を入れ誘客するためには、公共交通機関を充実させる必要がある。
- JR 飯田線に東京からの急行を復活させてほしい。

- 乗合タクシーなど、きめ細やかな交通手段の確保を望む。
- 山間部の住民や免許を返納した高齢者に対する交通施策を手厚くしてほしい。

【福祉・保健分野】

- 社会的弱者といわれる人たちに優しい市になっていくことを望みます。それがすべての人に優しい市であると考えます。常に弱い人たちの立場を考えたものとしてください。
- 高齢者が集まり、楽しく会話などができて健康に過ごせる場所があったらよいと思う。
- 高齢者が生活しやすいサービスや自分がそうなったとき健康でいられるようなまちづくりを期待します。若い人が楽しく暮らせるまちであることも大事だと思います。
- 障害者の雇用促進。
- 保育園の1歳未満の子供を預かってくれる園が少ないことや延長保育の時間が早い。
- 他県より、伊那へ移住してきた人の話ですが、障害児への対応が、すごく進んでいてびっくりしていました。又、介護施設等が、とても充実していて、ご両親を伊那へ呼びたいと考えていらっしゃる方もいました。
- 高齢化社会に向けての具体的対策が追いついているか心配です。地域包括ケアシステムの整備に向けて行政とタイアップで早急に取り組んでほしいと思います。そのためには若者がUターンして満足して暮らせるまちづくりがベースにないと実現しないのではないかと思います。
- 認知症予防や介護予防を含めて高齢者がいきいきと活躍できるシニア世代の活用を。(スポーツ・レクリエーションの普及振興等)
- 介護支援や子ども支援には、財政的な金銭支援が必要。手薄だと子どもを産みたいと思う人が増えない。あと不妊支援も必要。結婚⇒出産⇒子ども増加をしていかないとダメだと思う。
- 雨天時、土日などに利用できる室内のキッズスペース(遊具あり)や緑地公園など子育て世代が楽しめる場所をもっと増やしてほしい。
- 大学生に対する奨学金制度などの補助を考えてみてはどうか。
- 婚活と地域の産業が連携できるような取組があると良いですね。1つの目的だけではなく、関連づけて考えると一石二鳥です。
- 中核的な子育て支援センターを整備するとともに、施設の数を増やし、開設時間をもっと長くしてほしい。
- 入院できる施設が人口のわりに少ない。在宅医療補助の拡充を。
- 年金制度、医療費を含む医療介護保険制度の改善をお願いしたい。
- 高齢者の買い物弱者対策について。高齢者は物が欲しいわけではなく、人との交わりが欲しいのではないかと思います。

【教育分野】

- 学校が忙しすぎるので、もっと子供たちに時間や選択の幅を与えてほしい。
- 教育レベルが低く感じ、これから大人になり、就職するのに十分な基礎が作れないのではと心配です。学校でできない部分は塾などで補わなければならないと金銭的にも大きな負担です。底上げと教育レベルの向上を早急にしてもらいたいと思います。
- 子どもが学習を始める幼少期より、知的好奇心を満たすことのできる施設や、イベントを開催してほしい。例えば天体観測や、化学実験教室など、夏休みだけでなく1年を通じて体験できる施設を作してほしい。
- いじめは犯罪である。子供だけでなく地域全体にしっかり伝えてゆく努力が絶対必要である。
- 総合学習を利用し、伊那市の伝統文化、職人さんの授業による体験型教育(物づくり、職人)を進めてほしい。
- 姉妹提携都市、国との交換留学(短期、春・夏休み利用)。
- 子供の支援体制がバラバラであったり、継続できず途中で途切れてしまう。保育園→小学校→中学校→高校→社会と、継続的な支援を行っていただきたい。また、個人の考えではなく、統一した考えのもとでしっかりした支援をしていただきたいと思います。
- 中学生、高校生が小さい子と関わり、子供っていいなと思えるプログラムがあれば、子供を持つ、育てるという事にふれられる(将来への種まきの)成長した時に、良い影響があるんじゃないかなと思います。

【生涯学習・文化芸術・スポーツ分野】

- 春の高校駅伝での高い知名度を活用し、高校生の夏季合宿を誘致する。(高地に練習用のコースを整備するなどして)
- 国際芸術祭など、芸術・文化で人を呼び込むようなイベントがあつたらいいと思います。
- スポーツ・文化施設を充実させ、それらを利用してイベント誘致に力を入れてほしい。

【広域交流・観光分野】

- 美しい自然があるのだから、そこに集客の種がある。
- 伊那市は中京圏であるという認識を強くし、観光戦略、農産物販売も中京～関西へ注力すべきと考えます。
- 中心市街地だけの活性化ではなく、各地域で自然や文化農産物、グルメなどをアピールし、都会からの誘客にも力を入れてほしいと思います。
- 観光で地域全体の活性化を図るべき。
- 観光施設を充実させてほしい。伊那ブランドがほしい。広域市町村が連携して、1つの特色ある地域

づくりを。他がやっていない事をやる。

○特色のあるイベントがない。インターナショナルに展開が期待できるイベント考えるべき。

○伊那市の情報の整備、発信が重要だと思います。IoT 社会の到来を見据えたインフラの整備充実を早急に進める必要があると思います。

○友人が来ても、伊那に良いホテル・旅館がないため、他市町村に泊まります。伊那は通過地点になっているのが現状です。

○せっかく高遠の桜があるのに観光客はただ見ただけで帰ってしまう。もっと観光客がお金を使う方法を考えるべき。

○花見の時、街中周遊を図るとともに、桜のシーズンだけでなく、高遠がもっと観光地になるように力を入れてほしい。

○2つのアルプスに登れるまち、通り町の飲み屋街を活かし、滞在型の登山基地としてのまちをアピールしてほしい。飲食店では地域の食材を中心に使うことで市の第一次産業の盛り上げ、宣伝になる。山を活かした観光地、伊那でしか体験できないことを充実させ、リピーターの多い観光地になれば最高。

【広域交流・観光分野（若者定住関連）】

○若い人達が住んでみたいと思う魅力があれば、自然と人が集まるのではないかと思います。

○進学で市外・県外に行ったまま、その地で就職しているので若者が減っています。市内の企業に就く」という条件で進学のための奨学金制度があってもよいかもしれません。

○若者の都市部への流出が多く、将来の伊那市に不安があります。大学や企業の誘致などに力をいれていただき、魅力あるまちづくりをお願いいたします。

【広域交流・観光分野（リニア）】

○リニア中央新幹線の開通に向けた交通アクセスの整備と飯田線の利便性の改善について検討願います。

○飯田線をもっと発展させ、新宿又は東京まで、一日二往復できる列車を走らせるべきと考えます。

○東京方面、名古屋方面ともに高速バスの不便さはないが、電車については、飯田線と中央線の接続が悪く困っている。高齢になると車の運転も大変なので、電車の交通の便を良くしてほしい。

【広域交流・観光分野（空き家）】

○だんだん空き家がふえるので、空き地、宅地から畑に復帰させるのに補助をしてはどうか。

○放置された空き家が見られます。危険ですし、見苦しいので若い世代に負担を残さぬための対策をお願いしたい。

○不在地主や離村する人が多く、土地や家屋が荒れている。これらの不動産はやがて処分できなくな

る可能性があり、大きな問題になる前に対策が必要である。

【防災、地域の安心・安全分野】

○街が天竜川流域にあるため、予測不能の雨量になると川が氾濫し、行政の機能が麻痺する可能性が大きいと思います。川が氾濫しないよう天竜川の河川整備をしっかりと行ってください。

○子供が安全に通学できるよう通学路の検討をしてください。

○九州北部の豪雨で大きな被害が出ました。おのずと自分たちの住む地域は大丈夫なのかと思ってしまう。危険箇所マップ等を各方面から配布いただきますが具体的にどんな災害が起きる可能性があるのかイメージできません。いーなチャンネル等で「こういった地形のところは浸水の恐れがある」等映像で見せていただくと、より関心が深まると思います。

○引越してきて1年ですが、高齢の方の運転が危ないと感じることが多いです。福祉サービスのタクシーやバスなど、選択肢が増えればよいと思います。

○災害時に安心して避難できる場所を各地区に作ってほしいです。

【その他】

○地域ごとの特徴がもっとはっきり出ると、わかりやすく、楽しみやすい市になるように思います。

○働き口があること、子供を安心して育てられることの2点は長く住むうえで重要かと思います。

○コンパクトシティは賛成ですが、どこかを切り捨てなくては、将来まちが維持できなくなるのでは？と不安があります。農工、観光+テクノの働きやすい都市化の推進を望みます。

○環境にやさしく、山や川など美しい自然が守られている町。犯罪がなく災害に安全な町。日本全体を考えても、こんなに恵まれた市は数少ないと思います。これからの若い人のアイデアを集め、もっと活気ある市となることを期待します。

○良い環境の中で美味しい農産物が生産されることは大いに魅力。

○魅力ある市街地にしてほしい。せっかく「花咲く街かど」等素晴らしい企画をされているので、さらに発展させ活性化につなげていければと思います。

○個人商店が少なくなりました。買い物弱者対策もいろいろ考えて下さっていますが、これから不安の一つです。

○何かをやるときにわかりづらい事は長くは続きません。単純で小学生やお年寄りが初めてでもわかるようなシステムでないと結局誰も使わなくなります。使う人たちに意見を聞いたうえで始めたほうがよいと思います。

○自然豊かで美味しいものも多いが、それを生かす施設がない。結婚式場やイベント会場もない。結局他市にお客さんを取られている気がする。

○やはり山間の寒冷地ということで、高齢者が認知症や寝たきりになるリスクが都市部より高いですね。冬場に高齢者が自宅に閉じこもらず、人と接して体を動かす環境づくりが必要だと思います。

- 外からの評価(伊那市がどう見られているか)を知りたい。住んでいる人が思っている以上に良い市だと思う。
- 「ここ」に未永く住みたい願いは強いが、医療、交通、文化施設、買い物環境など、暮らしに密着するものに地域格差が大きすぎる。
- 背伸びした発展は、いつかは躓く。目立つ観光地がなくとも、四季穏やかな伊那の、林、農、人情を大切にしたい。
- 殺伐とした社会です。道徳の無さも一因していると思う。キーワードは「道徳」です。そのことを考えていただき誰からも、伊那市は住みやすいと言われるモデル市を作っていただきたい。
- 伊那市が全国的に知られるまちに少しでもなるように、良い部分をどんどんアピールしてほしい。他の大きな都市には無いものが必ずあるので、そこに魅力を感じてもらえるように。
- Iターン、Uターンといった地方移住者が住みたくするような、定住したくなるようなまちにしていってほしいです。地域特色のある商業施設、安心できる医療ネットワーク、地域コミュニティの活性化を希望します。

Ⅱ 中学生アンケート調査結果

1 調査概要

(1) 調査目的

次代を担う中学生の意見をこれからのまちづくり施策へ反映するとともに、アンケートを通じて、伊那市の良いところを再認識してもらうことにより「自分のふるさと」としての誇りや愛着の気持ちを醸成し、「定住の地」としての意識を育むため実施したものです。

(2) 調査方法等

アンケートの対象者	市内中学校の2学年の生徒
人 数	686人（平成29年5月1日現在）
抽 出 母 体	
抽 出 法	
調 査 方 法	各学校を通じての配布・回収
調 査 時 期	平成29年7月1日～8月31日

(3) 配布数及び回収結果

配 布 数	686
有 効 回 答 数	649
有 効 回 答 率	94.6 %

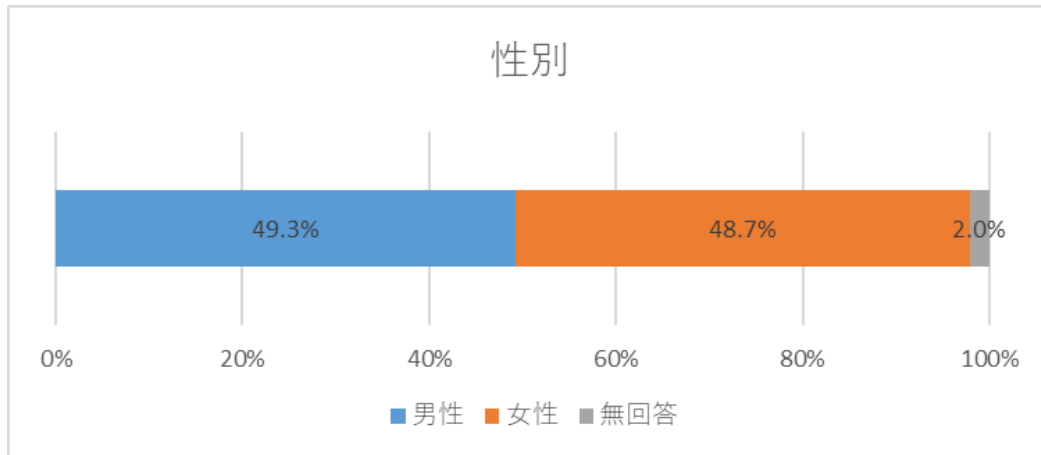
(4) 本調査報告書の留意点

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ②質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は調査数を上回ることがあります。
- ③図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。

2 回答者の属性

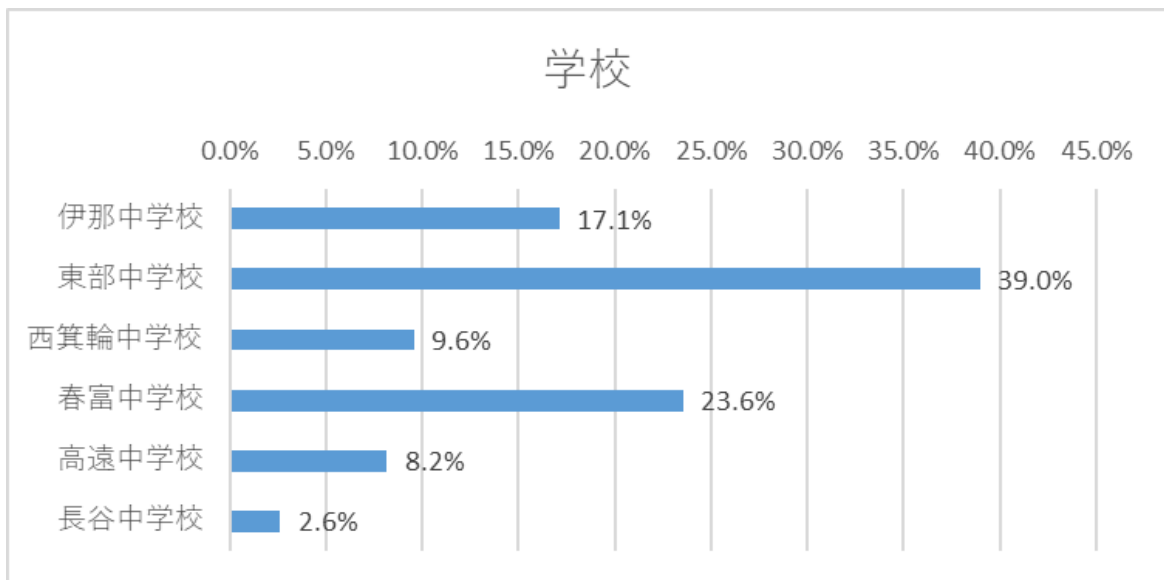
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が 49.3%、「女性」が 48.7%となっています。



(2) 学校

生徒数の割合は、下記のとおりです。



3 伊那市の現状について（市民アンケート共通設問）

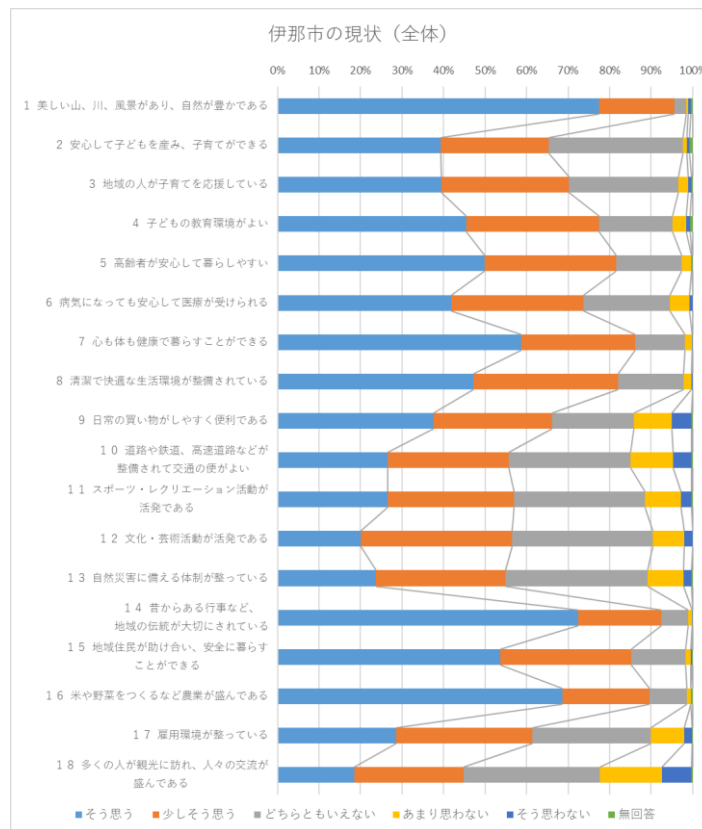
問1 今の伊那市のイメージについて、あなたはどのように感じていますか？
 <以下項目ごとに○はひとつ>

【全体の傾向】

- 「豊かな自然」、「地域の伝統」、「農業」は評価が高い
- 「道路・交通」、「観光・交流」、「雇用」は評価が低い
- 市民アンケートの結果とほぼ同じ傾向

全 18 項目について伊那市の現状（イメージ）をたずねたところ、「そう思う」と「少しそう思う」の合計の上位 3 項目は、「1 美しい山、川、風景があり、自然が豊かである」（95.7%）（一般アンケート 1/18 位）、「1 4 昔からある行事など、地域の伝統が大切にされている」（92.4%）（一般アンケート 4/18 位）、「1 6 米や野菜をつくるなど農業が盛んである」（89.7%）（一般アンケート 2/18 位）でした。

一方、「あまり思わない」と「そう思わない」の合計の上位 3 項目は、「1 8 多くの人が観光に訪れ、人々の交流が盛んである」（22.0%）（一般アンケート 17/18 位）「1 0 道路や鉄道、高速道路などが整備されて交通の便がよい」（14.6%）（一般アンケート 18/18 位）、「9 日常の買い物がしやすく便利である」（13.9%）（一般アンケート 15/18 位）でした。



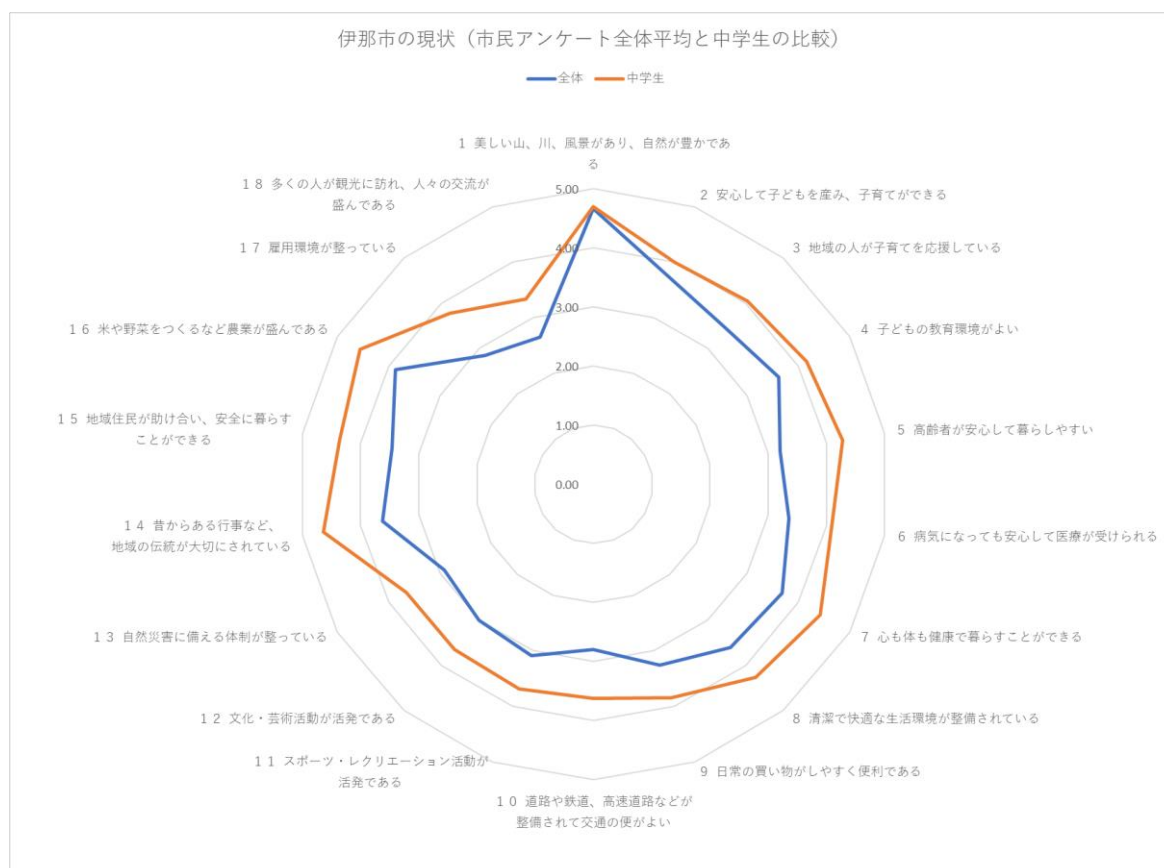
【市民アンケート結果との比較】

●中学生は市民アンケートの結果より全体的に評価が高い

5段階評価にそれぞれ点数を加え、評価点を算出した。

そう思う…5点、少しそう思う…4点、どちらともいえない…3点、あまり思わない…2点、そう思わない…1点

上記の方法で各選択肢を点数化して評価点を算出し、評価点を一般アンケートの結果と比較したところ、「中学生」の評価点は、全ての項目で市民アンケートの評価点を上回る結果となりました。



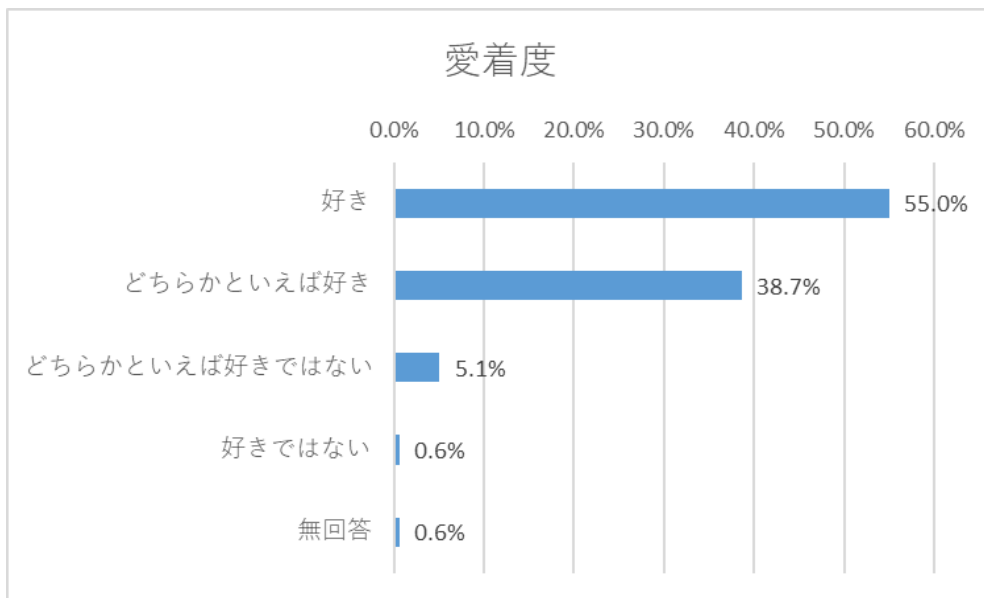
4 愛着度について

問2 あなたは、伊那市のことが好きですか<○はひとつ>
また、そのように思う理由を書いてください。

【全体の傾向】

●全体の約94%が“愛着がある”と回答

伊那市の愛着度をたずねたところ、「好き」(55.0%)と「どちらかといえば好き」(38.7%)を合わせた“愛着度の高さ”は93.7%となっています。一方、「どちらかといえば好きではない」(5.1%)と「好きではない」(0.6%)の合計は5.7%で、“愛着がある”割合を大きく下回っています。



【「1 好き」の主な理由】

自然が豊かで景色も良く空気がきれいだから。
地域の人がやさしく接してくれるから。
地域の交流が活発で、皆が助け合っていると思うから。
生まれ育った場所だから。
自然災害が少なく、安心して暮らせるから。
都会すぎず、田舎すぎないところ。市街地もあり、すぐ近くに雄大な自然もある。
食べ物がおいしいから。(ローメン、米、野菜など)
過ごしやすい気候だと思うから。
伊那市だけの特徴があり、ゆったりとした雰囲気がある。

【「2 どちらかといえば好き」の主な理由】

好きだけれど、大型の商業施設(ショッピングモールなど)が近くにないことが残念。
好きだけれど、自然が多いだけで若い人には物足りない。
将来どのような職に就くか分からないが、伊那市を大切にしたいという気持ちは持ち続けていたい。
中心部は発展しているかもしれないが、山間部などは買い物に行くのも不便。
賑やかな感じがほしいけれど自然環境も守って欲しい。
ここでしか暮らしたことがないので、他がどうか分からない。
県外の出身だが、伊那市のほうが涼しい。
良いところもあるけれど、不便なところもあるから。

【「3 どちらかといえば好きではない」の主な理由】

まちを歩いている人が少なく、まちに活気がないと思うから。
交通の便が良くないから。
買物できる店が遠いから不便。
大型店が少なく、買いたいものが買えない。
遊ぶ場所が少ないから。
人口がすごく減ってきているため。
栄えているところと栄えていないところの差が激しいから。
自分のやりたいことができないと感じるから。

【「4 好きではない」の主な理由】

田舎すぎるから。
産業や会社などすごいと思うけれど、伊那市に興味がないから。
お店がある場所までとても遠く、生活が不便だから。
つまらないから。

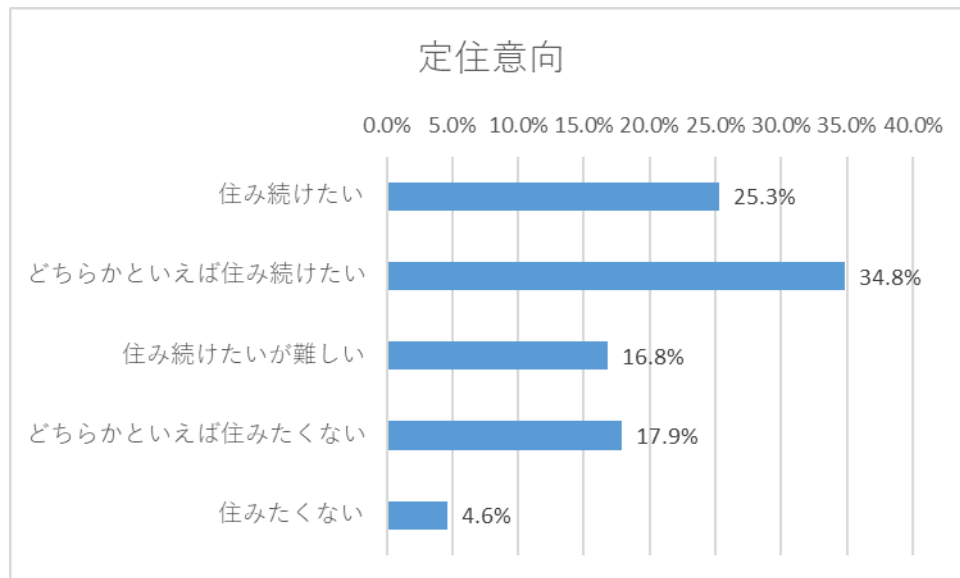
5 定住意向について

問3 あなたは、将来も伊那市に住みたいですか。〈○はひとつ〉
また、そのように思う理由を書いてください。

【全体の傾向】

●全体の約60%が“定住意向がある”と回答

今後の定住意向をたずねたところ、「住み続けたい」(25.3%)と「どちらかといえば住み続けたい」(34.8%)を合わせた“定住希望がある”人は60.1%となっています。一方、「住みたくない」(4.6%)と「どちらかといえば住みたくない」(17.9%)の合計は22.5%で、“定住希望がある”割合を下回っています。



【「1 住み続けたい」の主な理由】

自然が豊かで治安もよいと思うから。

自然災害が少なく平和だから。

生まれた場所で昔ながらの友人・知人と仲良く交流を続けたいから。

これからも地域の人とのかかわりを大切にしていきたいから。

将来子供ができれば、自分と同じこの環境で育てたいと思うから。

「子育てしやすいまち」として紹介されているから。

都会の環境(気候、人ごみ、騒音)が好きではないから。

ほどよく成長していて東京よりも豊かだと思うから。

家業を続けたい。親が残してくれたものがたくさんある。

【「2 どちらかといえば住みたい」の主な理由】

住み慣れた場所で安心だから。

都市圏まで少し遠いので、もう少し交通の便が良くなれば住みたいと思う。

他の県や市に住んでみたい気持ちもあるが、自然が豊かで住みやすい町はそんなになく思うから。

いろんな場所へ行ってから決めたいと思う。

仕事や大学などを考えると、住み続けられるかはわからないが、伊那市が好きだから住みたい気持ちはある。

今の生活に満足しているから。

【「3 住みたいが難しい」の主な理由】

自分の夢をかなえるためには、伊那市を離れなければならないから。

伊那市が好きだから住みたいけれど、就く仕事によると思う。

山奥過ぎて不便。もし災害がおきたら大変なことになりそう。

就きたい職、働きたい場所がここにはないから。

親の仕事の都合上引っ越すことが多いから。

いろいろなところで暮らしてみたいから。

自分の実家(出身地)は別の場所にあるから。

就職先があまり多くないイメージ。進学できる大学もほとんどないから。

【「4 どちらかといえば住みたくない」の主な理由】

自分の欲しいものを買える店が少なく、買物が不便だから。

都会のほうがたくさん物もあって便利だと思うから。

他の場所に憧れがあるから。

別の場所でしかできない仕事に就きたいから。

交通手段が少なく、都会と比べて不便だから。

娯楽が少ないから。

いろいろな世界をみて、様々な経験をしたいから。

親から離れたくないから。

【「5 住みたくない」の主な理由】

他に暮らしたい場所があるから(都会、海外、海の近くなど)

穏やかすぎて、飽きてしまう。つまらない。

就きたい職、働きたい場所がここにはないから。

移動が不便(地形の関係)。

6 伊那市の自慢できるものについて

問4 伊那市であなたが自慢できると思うものは何ですか。物でも人でも場所でもなんでも構いません。具体的に書いてください。

※上位10項目

内 容	回答数
豊かな自然	173
桜、タカトオコヒガンザクラ、高遠城址	125
山(南アルプス・中央アルプス)	95
人柄・やさしさ	76
ローメン	73
伊那まつり、花火	40
空気がきれい、おいしい	35
川	22
伝統文化・行事	20
風景	18

7 今後のまちづくりの方向性について（市民アンケート共通設問）

問5 あなたは、伊那市が将来どのようなまちになることを期待しますか。

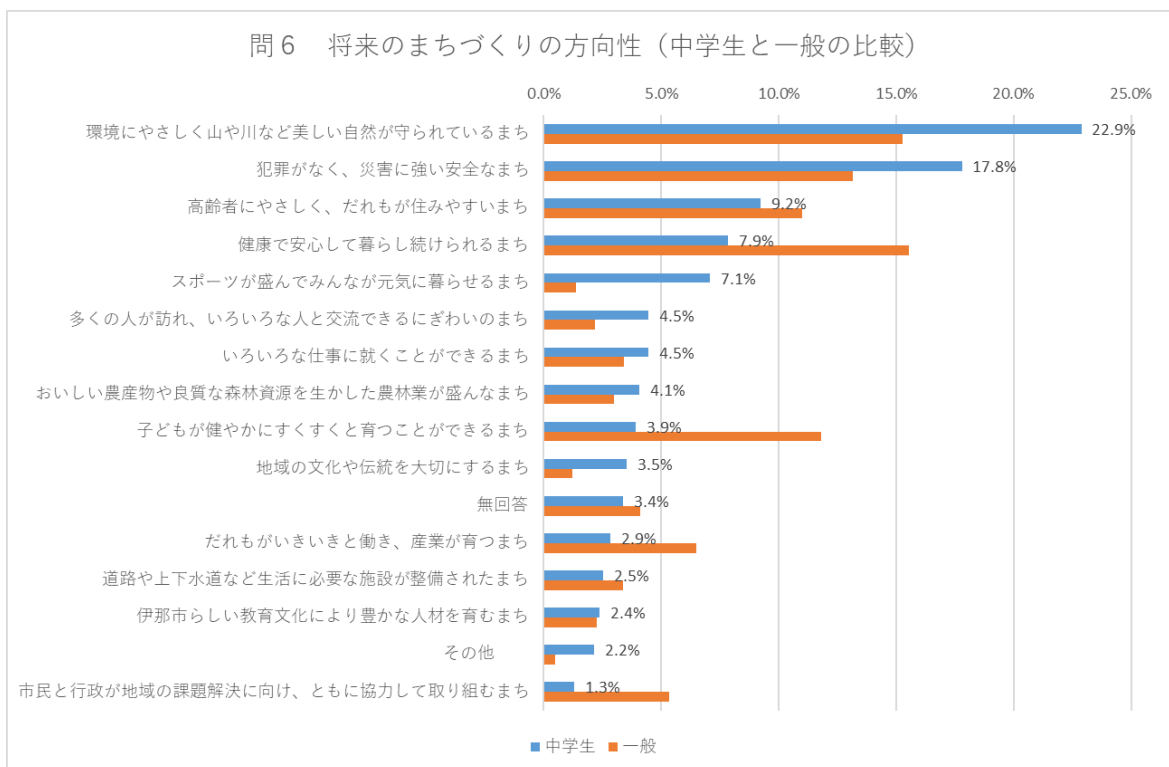
<〇は2つまで>

【全体の傾向】

●「自然環境の保全」、「防災・安全」への関心が高い。

将来のまちづくりの目指すべき方向性についてたずねたところ、「環境にやさしく山や川など美しい自然が守られているまち」（22.9%）、「犯罪がなく、災害に強い安全なまち」（17.8%）、の2項目へ関心が集中しています。

「健康で安心して暮らす続けられるまち」と「子どもが健やかにすくすくと育つことができるまち」の2項目は、市民アンケートより優先順位が低い傾向にありました。中学生にとって身近な課題ではないことが影響し、「自然環境の保全」と「防災・安全」に回答が集中したと推察されます。



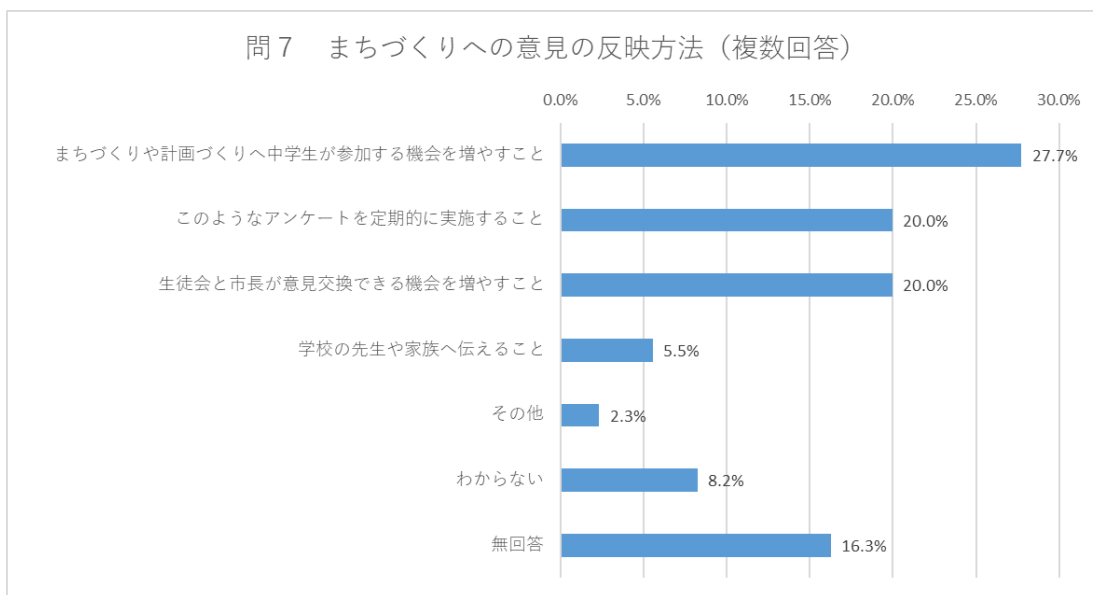
8 意見の反映方法について

問6 中学生の声を伊那市のまちづくりに生かす方法として、どのようなことが有効だと思いますか。〈〇は2つまで〉

【全体の傾向】

●まちづくりへ自ら参加するという協働の意識が高まりつつある

まちづくり等への意見の反映方法についてたずねたところ、「まちづくりや計画づくりへ中学生が参加する機会を増やすこと」(27.7%)が最も多い結果となり、協働によるまちづくりへ自主的に参加したいと考える傾向にあることが伺えます。また、このようなアンケートを定期的に行うことにより、中学生の意見を市政やまちづくりへ継続的に反映できるものと考えられます。



【その他の理由】

SNS などを利用して、自分の意見を広く発信する。

市内の中学校の生徒会が交流できるイベントを開催する。

校外学習などで、地域の方と触れ合う時間を増やす。

いつでも意見を伝えられるような仕組みづくり(アンケートBOXを常設するなど)

9 まちづくりについての要望・意見等

(1) 市への要望や意見

問7 これからあなたやみんなのまちづくりを進めていくうえで、市に望むことや意見などを書いてください。

※重複する内容は一部省略しています。

【農林業分野】

- 自然を生かした農業が盛んなまちづくりをすすめてほしい。
- 農業に従事する人を増やしたほうが良い。
- 田んぼが減ってきているので、減らさない方がいいと思う。

【商工業分野】

- 商業施設などを増やして便利でにぎわいのある楽しいまちにしてほしい。
(コンビニ、大型ショッピングモール、アウトレット、デパート、映画館、遊園地、水族館、テーマパーク、動物園、ゲームセンター、書店、スポーツ用品店、ドンキホーテ、カードショップ、アニメイト、鉄道模型店 など)
- コンサートなどができる大きな建物をつくってほしい。
- たくさんの人が訪れるような施設(温泉、モール、観光地)などをつくってほしい。
- 電気自動車の充電スポットが身近にあると良い。
- もっと産業などが発達し、経済的に安定している市をつくる。
- お母さんたちが気軽に働ける職場が必要だと思います。
- 中学生、高校生、大学生が夢見る職業を増やして欲しい。
- 伊那で働く人との関わりながら魅力を知っていけると良いと思う。
- 進学できる学校や就くことのできる仕事を増やしたほうが良いと思います。

【自然環境分野】

- 今があるのは自然や文化を大切にしているからこそ。この先もずっと変わらない景色の伊那市であって欲しい。
- 魚がいっぱいいるきれいな川にしてほしい。
- 虫や動物たちが生きる森を大切に守ってほしい。

- 森林破壊をなるべく少なくしてほしい。
- 自然を壊さないようにしつつ、住みやすい伊那市になるようにしてほしい。

【生活環境分野】

- 伊那市には車が多いのに、道が狭いと感じられる道路が沢山あるので、道幅を広くしてもらえれば、大変助かると思います。
- 道路の舗装や街灯の修繕を速やかにお願いします。
- 道にゴミが落ちてると市のイメージが悪いので、ゴミの落ちていないまちにしてほしい。
- 主要幹線道路や通学路へ自転車専用走行レーンをつくってほしい。
- 子供たちが安全に遊べる公園が増えるとよい。
- 高齢者が多い地区に住んでいますが、狭い道が多く、夜になると街灯が少ないため、とても危険です。街灯を増やしてください。

【生活環境（交通）分野】

- 公共交通機関がもっと便利になればいいと思います。
- もっと早く移動できる交通手段を整えてほしい。
- バス、電車の便数を増やしてほしい。（1時間に1本でなく、せめて2, 3本に）
- 伊那本線の定額化。
- 伊那市独自の電鉄を造ってほしい。

【福祉・保健分野】

- 高齢者や障害者にやさしく、暮らしやすいまちづくりを考えていってください。
- 高齢者の生活の不便や要望を高齢者から聞いていくべき。

【教育分野】

- 学校の改修、グラウンドの整備
- 夏休みを増やしてほしい。都会の学校と夏休みの期間を平等にしてほしい。
- 学校内にクーラーや扇風機がほしい。
- 動物を飼う教育をしたほうが良い。命の大切さなど、授業では学べないことが多いから。
- 学校の先生を増やしてほしい。
- キャリアフェスをやったように中学生がいろいろな仕事へ自分から興味を持てるような機会を増やしてほしい。

○今、市内で行っている中学生の職場体験はすごくいいと思います。伊那市で実際に働いている人の所へ行き、働くことについて学ぶ、この教育は残していき、この活動を、もっと市民にも広めるべきだと思います。

○将来の就職や進学について相談できる所が欲しい。

○勉強できる場所を増やしてほしい。

○授業へタブレット端末の導入。

○伝統を大切にしてください。

【生涯学習・文化芸術・スポーツ分野】

○昔からあるお祭りや、地域の伝統を大切にしていってほしい。

○もっとスポーツ等で交流できる機会がほしい。

○スポーツができる施設(グラウンドや体育館)を増やしてほしい。

○伊那駅伝をもっと盛大にいってほしい。

○市民プールの魅力が無くなってしまったので、もっと大きくして楽しめるようにしてほしい。

【広域交流・観光分野】

○観光客が増えて、市外や県外の人たちと沢山触れ合える機会がほしい。

○観光客を増やすためのPRをもっとしてほしい。

○キャンプができる場所を増やしてほしい。

○イベントなどで伊那市の良いところをもっと発信したほうがよい(ローメンや高遠そばなど)。

○自然や山を生かしたアスレチックをつくり、他県から誘客する。

○マウンテンバイク・バギーに乗るレクリエーション施設をつくってほしい。

○新しい「名物」などを増やしていけばよいと思います。

○食べ歩きのできる屋台があるとよい。

○伊那まつりを年に2回開催する。

○冬にも祭りを開催する。寒い冬こそ、祭りで盛り上げた方がよいと思う。

○登山客を伊那市に呼び込む。登山の前後に市内で食事をしてもらおう。一番好ましいのは、その登山客が「伊那に住みたい」と思ってくれること。伊那市が登山口になったらいいと思う。

【防災、地域の安心・安全分野】

○自然災害の対策をして自然と共存できるまちづくりを目指してほしい。

○通学路の交通安全、危険個所の解消

○安心して暮らすことができるまちにしてほしい。

- 交通事故を減らして欲しい。
- 誰からも愛される平和なまちにしてください。

【その他の分野（まちづくり全般）】

- 竜東、竜西でいろいろが二分化されているので、それぞれに十分な機能をもたせてほしい。竜西にはIC、駅、バスターミナル等の交通網が集中している。竜東には専門店やチェーン店が集中している。結局バランスが悪く、どちらに住む人も不便になっているので、その面から改善してほしい。
- 一部の地域だけ良くなるのではなく、全体をよくして欲しい。
- ここにしかない美しい自然を守り続けてほしい。
- ITがどんどん成長していく中で、まだ、人の手でしか作れない伝統的な物を創っている職人さんが高齢化していき、継ぐ人もいなくなり、伝統的な職がなくなることがないようにしてほしい。
- 新しいことをしようとせず、今までどおりのまちづくりをしてほしい。
- 市民一人ひとりの心が一つになるとよい。伊那に住んでいて「伊那市の歌」を知らないのはもったいないので、みんなが歌を分かっていたほうが良いと思います。
- もっと新しいことを取り入れてほしい。古臭い感じが嫌。
- 伊那市は便利とは言えないけれど、便利にしてほしくないし、工場なども増やしてほしくない。今の田舎のままが良いと思います。
- 人を呼べるような場所の整備やイベント企画を行ってほしい。
- 人口が増えてほしい。
- 若者をターゲットとしたインターネットでの宣伝などを強化して、若者が集まるまちにしてほしい。
- 私の住んでいる地区は、子どもと高齢者の差が激しすぎる。交通の便もよいとは言えない。買い物に行くのも一苦勞。若者が住みやすい市にしてほしい。

(2)自分たちができること

問8 これからあなたやみんなのまちづくりを進めていくうえで、自分や市民ができると思うことを書いてください。

※重複する内容は一部省略しています。

- 自然環境を守る(環境整備、ゴミ拾い、ポイ捨てをしない など)。
- あいさつをする。
- 困っている人がいたら助ける。お年寄りを大切にする。
- 公共のものを大切に使う。
- 情報発信(伊那市の魅力を周りへ伝える、SNSの利用、ポスターの制作 など)。

- 地域の伝統文化を大切にしていく。
- ボランティア活動へ参加する。
- 地産地消。
- 募金へ協力する。
- 伊那市のことをもっと知る。
- 自分たちでできることは、協力して自分たちでやる。
- 将来伊那市に戻ってくることを。地域への貢献の気持ちを忘れないようにする。